

## 「オンリーワン徳島行動計画（第二幕）」 目標水準・数値目標 平成19年度 進捗状況一覧表

### 1 目標水準、数値目標について

「オンリーワン徳島行動計画（第二幕）」では、7つの基本目標を具体化するための49の各重点施策ごとに、「目標水準」を定めるとともに、これを構成する主要事業についても、個々に「数値目標」を設定しており、平成19年度版計画においては、合計510の「目標水準」、「数値目標」を掲げているところです。

今回、「オンリーワン徳島行動計画（第二幕）」の初年度である平成19年度のそれぞれの「目標水準」、「数値目標」の進捗状況についてとりまとめました。

### 2 一覧表の見方について

(1)「現況値」欄には、計画に記載している数値を記載しています。

(2)「実績値」欄には、原則としてそれぞれの年度の年度末時点の数値等を記載しています。実績値が判明していない場合等は、「-」としています。

(3)「目標値」欄には、平成19年度版計画において設定した、目標年度までに達成しようとする数値等を記載しています。

なお、印の目標値は、平成20年度版計画において、上方修正をしております。

(4)「進捗状況の説明」欄には、実績値の目標値に対する進捗状況の説明を記載しています。

(5)「政策評価対象関連事業」欄には、各目標水準、数値目標を達成するために実施している政策評価対象事業の事業数及び平成20年度事業費規模を記載しています。



# 「オンリーワン徳島行動計画(第二幕)」目標水準・数値目標 平成19年度進捗状況一覧表

印は20年度版で上方修正

(19年度実績値は、平成20年3月31日時点)

番号	指 標 名	単位	現況値	年度	<参考> 実績値 (18年度)	実績値 (19年度)	目標値	年度	進 捗 状 況 の 説 明	政策評価対象 関連事業	
										事業数	H20事業費
<b>基本目標1「オープンとくしま」の実現</b>											
<b>1-1 オープンとくしま体制づくり</b>											
1	外部専門家による監査委員数	人	4	17	委員定数を増加 (46)	4	6	22	平成19年3月に監査委員の定数を増加。平成20年4月の委員増員に向けた検討・諸準備を行った(監査委員数 5名)。		
<b>1-2 県民主役とくしまづくり</b>											
2	知事部局の情報公開度ランキング(全国)	位	-	17	5位	1位	3位以内	20	積極的な情報公開に努めた結果、平成19年度に1位となり目標を達成した。	1事業	百万円以上
3	「県庁コールセンター」の設置	箇所	-	17	-	検討中	3	21	21年度内の設置に向けて検討中。		
4	県ホームページ月間平均アクセス数	千件	204	17	213	189	250	22	引き続き積極的な情報提供に努める。		
5	「しゃべり場とくしま」、「とくしま円卓会議」の開催回数	回	9	17	13	12	14	22	しゃべり場を6回、円卓会議を6回開催。引き続き県民との対話を進める。		
6	「知事への提言」メール・はがき・手紙の受付件数	件	636	17	874	1,050	1,000	22	引き続き県民との意思疎通を図る。		
7	パブリックコメント実施件数	件	22	17	23	37	40	22	県のすべての行政機関においてオープンとくしまパブリックコメント制度を導入している。	1事業	一千万円以上
8	県民広聴事業における県民相談件数	件	5,507	17	5,377	5,422	7,000	22	県庁、南部・西部総合県民局において、県民相談を行っている。	1事業	一千万円以上
9	オープンとくしまe-モニターアンケート制度	件	8	17	7	10	10	22	インターネットを活用した県政アンケート調査を16年度から実施している。	1事業	百万円未満
<b>1-3 公正で公平な県政づくり</b>											
10	入札・契約制度改革のための「全国知事会提案指針」の実現		-	17	-	推進	実現	20	平成19年度入札制度では一般競争入札や総合評価落札方式の拡大等の改革を実施。平成20年度入札制度改革において指針の実現を目指す。		
<b>1-4 共感と協働による地域づくり</b>											
11	「とくしま県民活動プラザ」サテライト・オフィスの設置	箇所	-	17	-	検討	2	21	20年度の南部及び21年度の西部におけるサテライトオフィス設置に向けて準備を進めている。	1事業	百万円未満

印は20年度版で上方修正

(19年度実績値は、平成20年3月31日時点)

番号	指 標 名	単位	現況値	年度	<参考> 実績値 (18年度)	実績値 (19年度)	目標値	年度	進 捗 状 況 の 説 明	政策評価対象 関連事業	
										事業数	H20事業費
										12	「とくしまNPOシンクタンク」の創設
13	「とくしま県民活動プラザ」利用者数	人	29,292	17	28,350	34,738	32,000	22	NPO・ボランティアなど社会貢献活動の総合的な支援拠点として、県民の間に浸透している。	3事業	一千万円以上
14	NPO法人数	団体	64	15	189	214	260	22	NPO法人制度の周知等により、NPO法人数は順調に増加している。	3事業	一千万円以上
15	NPO法人の事務所がない市町村数	市町村	5	17	2	1	0	22	NPO法人制度の周知等により、NPO法人は全県的な広がりを見せている。	3事業	一千万円以上
16	ボランティア・アドプト登録人口	人	135,238	17	136,081	139,289	140,000	22	社会貢献活動への参加形態の多様性により伸び幅は大きくないものの、着実に増加している。	3事業	一千万円以上
17	貸しデスク登録ボランティア団体数	団体	-	17	-	4	4	22	19年度から実施しているが、4団体が登録し順調に推移している。	1事業	百万円以上
18	社会貢献活動団体等との協働事業数	事業	24	17	31	7	30	22	協働推進モデル創出事業等により、NPO等との協働事業を実施しているが、今後は、全庁的に協働事業への取り組みを進める。	1事業	百万円以上
19	アドプト参加団体数	団体	475	17	540	701	570	22	アドプトプログラムの周知等により、これまで参加団体数は順調に増加してきている。	1事業	百万円未満
20	農家との協働による農業農村整備事業数 (累計)	地区	11	17	13	15	18	22	平成19年度は、新たに農家との協働により農業農村整備事業2地区(累計15地区)に着手した。	1事業	百万円以上
21	県庁におけるインターンシップ大学生の受入数 (累計)	人	127	17	179	237	360	22	制度の周知や大学との連携に努めた結果、19年度は県庁の各部局において過去最多の58名を受け入れることができた。		
<b>1 - 5 地方分権とくしまづくり</b>											
22	国への政策提言数(ジャパンスタンダード) (累計)	件	21	17	49	88	150	22	19年度は、5月要望として、33項目の施策提言と「都市部と地方との格差是正」に向けた6件の緊急提言を行った。		
23	パッケージ単位での権限移譲を受けた市町村数	市町村	-	17	18	20	全市町村	22	19年度には、佐那河内村と海陽町が新たに受け入れた。	1事業	一千万円以上
<b>1 - 6 行財政の構造改革の推進</b>											
24	とくしま未来創造プランの策定・推進		-	17	-	策定・推進	策定	19	「リフレッシュとくしまプラン」に替わる新たな行財政改革プランとなる「徳島未来創造プラン」を策定・公表した。		

印は20年度版で上方修正

(19年度実績値は、平成20年3月31日時点)

番号	指 標 名	単位	現況値	年度	<参考> 実績値 (18年度)	実績値 (19年度)	目標値	年度	進捗状況の説明	政策評価対象 関連事業		
										事業数	H20事業費	
25	県出先機関数	機関	82	15	47	44	40	21	平成20年度の東部圏域の組織再編により、出先機関の再編整備が完了(出先機関数 30機関)。			
26	職員数の削減(H17年4月~H22年4月) (一般行政部門職員)	人	-	17	66	129	200人以上削減	22	平成17年4月1日から平成20年4月1日までの間に、一般行政部門職員数273名の削減を行っている。			
27	職員給与の見直し		-	17	-	職員給与の 臨時的削減	実施	22	本県財政の健全化に資するため、特別職の給与カット、職員給与の臨時的削減等に取り組んでいる。			
28	東部圏域の組織再編		-	17	あり方を 検討	組織検討 開設準備	再編完了	20	平成20年度の東部圏域の組織再編に向け、具体的な検討・準備に取り組んだ。			
29	農林水産総合技術支援センターのPFI手法 による再編・新拠点整備【再掲】		-	17	-	調査	整備予定	22	「PFI導入可能性調査」を実施した。	1事業	百万円以上	
30	県の外郭団体の見直し対象団体数	団体	39	16	34	30	32	21	各団体毎に策定した「経営改善計画(問題解決プラン)」の進行管理を行うとともに、適時適切な助言を行うなど外郭団体の見直しを推進している。			
31	県の外郭団体の組織の見直し (H16/H21)		-		役員 6% 職員 19%	-	役員数 10% 職員数 20%	21				
32	県の外郭団体の県の関与状況の見直し (H16/H21)		-		補助金24% 委託金 38%	-	補助金 30% 委託金 40%	21				
33	県の外郭団体の公益法人制度改革の導入		-		情報収集	情報収集	導入	20	20年12月からの制度改革に対応するため、情報収集を行っている。			
34	公の施設数	施設	89	16	67	64	63	21	20年4月から「牟岐少年自然の家」への指定管理者制度導入に向け準備を進めた。			
35	市場化テスト等の導入検討 (既存公共施設の改修等にPFI導入)	施設	-	17	0	1	2	22	青少年センター改築事業に対し、PFI導入に向けた手続きを行っている。			
36	ネーミングライツの導入	施設	-	17	3	3	5	22	19年5月から3施設について愛称の使用を開始するとともに、県立施設への更なる導入推進に取り組んでいる。			
37	政策評価の改善見直し事業の割合	%	50	17	49	73	75	22	目標数値には僅かに及ばなかったものの、大幅に改善見直し率を向上させることができた。平成20年度以降も不断の見直しを行い、目標の達成を図る。	1事業	百万円未満	
38	条例の年間改廃制定数	本	58	15	58	68	116	22	制度改革に着手に対応するとともに、現行条例が有効に機能しているか否かの観点から要廃止条例及び要改正条例の全庁洗出調査に着手した。			
39	耐震リニューアル施設数(累計)	施設	7	17	16	20	38	22	年次毎の工程表に基づいて、計画的に推進している。			
40	財政中期展望の改定		策定・公表	15	-	19年度改定	改定	19	平成19年10月に改定・公表			

印は20年度版で上方修正

(19年度実績値は、平成20年3月31日時点)

番号	指 標 名	単位	現況値	年度	<参考> 実績値 (18年度)	実績値 (19年度)	目標値	年度	進 捗 状 況 の 説 明	政策評価対象 関連事業	
										事業数	H20事業費
41	財政改革基本方針の改定		策定・公表	16	-	19年度改定	改定	19	平成19年10月に「財政構造改革基本方針」を策定・公表		
42	県債残高の減少		-		9,613億円	約9,550億円を見込む	H20までに減少に転じる	20	長年にわたり累増してきた県債残高が、H19末に初の減少に転じる見込み。H20末は、更に100億円程度押し下げるべく財政構造改革を継続する。		
43	公債費（対前年のび）		-		867億円 (当初予算)	913億円 (当初予算)	H22までに0に近づける	22	公債費を減少させるために、そのピークをH20に前倒しすべく、財政構造改革を継続する。		

### 1 - 7 人権尊重とくしまづくり

44	「人権教育啓発推進センター」事業参加者・利用者数	人	-	17	-	14,484	12,000	22	徳島県立人権教育啓発推進センター「あいぼーと徳島」の事業として、人権フェスティバル・人権講座・展示事業や人権相談事業を実施し、県民の人権教育啓発事業への参加を促進するとともに「あいぼーと徳島」の利用を促進した。	1事業	百万円未満
45	「徳島県人権教育・啓発に関する基本計画」の推進		-	17	推進	推進	推進	19 ~ 22	平成16年度に策定した「徳島県人権教育・啓発に関する基本計画」に基づき、人権教育・啓発に関する施策を総合的かつ計画的に推進した。	3事業	一千万円以上
46	人権教育の推進と具体実践化		-		推進・実践	推進・実践	推進・実践	19 ~ 22	推進方針に基づく人権教育を推進するための指導者用手引書を作成・配付し、その活用促進により、態度化・行動化に結びつく人権教育の推進を図った。		
47	人権教育啓発推進センターの開設		-	17	整備	開設	開設	19	人権教育・啓発推進の中心的役割を果たす拠点である徳島県立人権教育啓発推進センター「あいぼーと徳島」を開設し、人権教育啓発に関する事業を実施した。		

### 基本目標2「経済飛躍とくしま」の実現

#### 2 - 1 経済飛躍とくしま体制づくり

48	「LEDバレイ推進ファンド」の創設・造成額	億円	-	17	-	40	40	19	40億円のファンドを造成し、その運用益により、LED関連企業等を支援した。		
49	経済成長戦略アドバイザーの設置		-		-	設置	設置	19	「徳島県経済成長戦略アドバイザー」として5名を委嘱し、「経済飛躍とくしま」の実現に向けた貴重な提言をいただいた。	1事業	百万円以上
50	農業協同組合数	組合	18	17	16	16	1	22	平成22年度までに県内1農協とする目標に向け、職員に対する経営概要ヒアリング及び役員等に対する合併指導を通して、合併推進を行った。	1事業	一億円以上
51	森林組合数	組合	13	17	12	11	5	22	平成19年4月に美馬南部森林組合と美馬郡北部森林組合が合併した。	1事業	一億円以上

印は20年度版で上方修正

(19年度実績値は、平成20年3月31日時点)

番号	指 標 名	単位	現況値		<参考> 実績値 (18年度)	実績値 (19年度)	目標値		進捗状況の説明	政策評価対象 関連事業	
			年度	年度			年度	年度		事業数	H20事業費
52	漁業協同組合数(沿海)	組合	35	17	35	35	1	19	当初目標の「平成20年1月1日に一県一漁協体制を確立する」ことは見送られたが、合併による組織強化は欠かせないという基本認識は一致しており、引き続き合併等の組織強化に向けた取り組みを支援していく。	1事業	百万円以上
53	認定農業者数	経営体	1,422	17	2,121	2,539	2,800	22	各市町村に設置した担い手育成総合支援協議会を核に育成活動を実施した。	1事業	百万円以上
54	農業法人数	経営体	123	17	124	139	150	22	各市町村に設置した担い手育成総合支援協議会を核に育成活動を実施した。	1事業	百万円以上
55	新規就農者数(累計)	人	48	17	108	202	350	22	農業人フェアなどの様々な機会を通じ、就農相談を実施した。アグリカスカールの講座内容の充実を図った。	1事業	百万円以上
56	新規漁業就業者数(累計)	人	22	17	38	49	150	22	大阪市で開催された「四国交流定住フェア」の参加者や、水産高校生を対象に、漁業への就労に対する意識調査を実施した。また、3月には、新規就業者の受け入れ機関となる漁業協同組合の意識改革を促すフォーラムを開催した。	2事業	百万円以上
57	農林水産総合技術支援センターの再編・新拠点整備		-	17	-	調査	整備予定	22	「PFI導入可能性調査」を実施した。	1事業	百万円以上
58	徳島県の輸出入総額 (小松島税関支署管内通関額)	百万円	101,105	17	109,860	135,516	130,000	22	本県貿易の一層の振興を図るため、国際ビジネスに関する人材育成、海外との産業交流等に取り組んでいる。	3事業	一千万円以上
59	中小企業向け融資制度融資件数	件	4,024	17	3,694	3,306	6,000	22	目標設定時と比べて、前向きな設備投資等の資金需要が減少した。経済情勢に対応した新制度の創設やPRに取り組んでいる。	2事業	一億円以上
60	四国横断自動車道(鳴門～徳島)の整備 用地取得率【再掲】	%	14	17	63	95	100	22	順調に用地買収が進み、今年度目標の85%を大幅に上回った。	2事業	一千万円以上
61	徳島小松島港赤石地区における貨物取扱量 【再掲】	万トン	120	17	113	-	200	22	内貿埠頭の早期供用に向けて用地造成を推進。平成19年度実績は、平成21年6月頃に確定する見込み。		
62	徳島飛行場の拡張【再掲】		整備中	17	整備中	整備中	供用	22	平成22年度供用に向けて事業促進。平成19年度末に、埋立工事完了。今年度は滑走路滑走路整備等に着手。		
63	長安口ダムの改造【再掲】				-	事業着手	事業着手	19	那賀川の治水・利水安全度の向上を図るため、国土交通省により平成19年度から長安口ダムの改造に事業着手された。		

## 2 - 2 ビジネスチャンス増大プロジェクトの推進

印は20年度版で上方修正

(19年度実績値は、平成20年3月31日時点)

番号	指 標 名	単位	現況値		<参考> 実績値 (18年度)	実績値 (19年度)	目標値		進捗状況の説明	政策評価対象 関連事業	
			年度	年度			年度	年度		事業数	H20事業費
64	県内企業への優先発注率(件数)	割合	-	17	89.4	-	9割	22	「県内企業優先発注及び県内産資材の優先使用のための実施指針」に基づく取り組みの結果、平成18年度実績は、89.4%と平成17年度に比べ0.5ポイント上昇しており、順調に推移している。19年度実績は20年秋頃に判明。		
65	とくしま経営塾「平成長久館」階層別受講者数(経営者研修)(累計)	人	-	17	826	1,522	2,100	22	とくしま経営塾「平成長久館」事業として経営者向け研修を実施し、受講者数は順調に増加している。	1事業	一千万円以上
66	とくしま経営塾「平成長久館」階層別受講者数(社内リーダー養成研修)(累計)	人	-	17	725	1,232	2,100	22	とくしま経営塾「平成長久館」事業として社内リーダー養成研修を実施し、受講者は順調に増加している。	1事業	一千万円以上
67	「徳島県経営品質賞」応募等企業数	社	3	17	6	7	10	22	「経営品質プログラム」の考え方は徐々に浸透しつつあり、品質賞等への応募も増加している。	1事業	百万円以上
68	改善エキスパート認定人数(累計)	人	25	17	43	52	80	22	「改善エキスパート」認定制度について、認知度が高まってきており、認定数も順調に推移している。	1事業	百万円未満
69	eコマースサイト(中小企業支援機関の運営)への出店企業数(累計)	社	-	17	22	54	100	22	eコマース(電子商取引)サイト「AWAとくしま」を運営し、県内企業の電子商取引促進に取り組んだ。出店企業数は、順調に増加している。	1事業	百万円未満
70	「事業継続計画」(BCP)作成事業所数(累計)	事業所	-	17	6	8	30	22	策定済みに至らないまでも、BCP策定に取り組む事業所は増加しており、引き続き県内企業のBCP策定の推進に努める。	1事業	百万円以上
71	「地震防災対策資金」融資件数(累計)	件	-	17	1	2	20	22	PRに取り組み、利用の増加に努める。	2事業	一億円以上
72	「建設業新分野進出支援資金」融資件数(累計)	件	1	17	5	8	30	22	平成20年度には「地域産業新事業展開支援資金」として、対象及び利用条件を拡大しリニューアルを図った。PRに取り組んでおり、徐々に利用は増加する見込み。	2事業	一億円以上
73	セミナーや支援制度説明会等の参加者数(年間)	人	221	17	199	1,747	1,000	22	経営体質強化、技術力向上、新分野進出を支援するためのセミナーや支援制度を周知するための説明会等を開催。	1事業	百万円以上
<b>2 - 3時代を先取るとくしま産業づくり</b>											
74	LED関連企業数(累計)	社	10	17	25	38	100	22	LEDバレイ構想行動計画に基づき、企業の研究開発支援をはじめ、各種施策を総合的に実施したことにより、38社となった。	1事業	一千万円以上

印は20年度版で上方修正

(19年度実績値は、平成20年3月31日時点)

番号	指 標 名	単位	現況値		<参考> 実績値 (18年度)	実績値 (19年度)	目標値		進捗状況の説明	政策評価対象 関連事業	
			年度	年度			年度	年度		事業数	H20事業費
75	「農工連携事業」による商品開発事業数 (累計)	件	-	17	-	6	10	22	中小企業地域資源活用促進法における基本構想を策定し、国から33品目の農林水産品について認定を受けた。今後、認定品目を活用した中小企業の取り組みを推進する。		
76	LED応用製品の研究開発参加企業数 (累計)	件	7	17	12	18	32	22	LED関連製品開発可能性調査事業において新たに6件を採択し、技術支援を行ったことにより、18件(累計)となった。	1事業	百万円以上
77	「LEDバレイ推進ファンド」の造成額 【再掲】	億円	-	17	-	40	40	19	40億円のファンドを造成し、その運用益により、LED関連企業等を支援した。		
78	車両用信号灯器のうちLED式信号灯器の割合	%	17	17	22	27	35	22	約400灯を計画的に整備した。	1事業	一億円以上
79	「JSTイノベーションサテライト徳島」を利用した研究資金の採択件数(累計)	件	-	17	2	4	10	22	目標値通り、産学官の研究成果の育成を推進した。		
80	競争的研究開発資金の新規事業採択件数 (累計)	件	-	17	3	4	7	22	地域資源活用型研究開発事業をH19年度新規事業として1件採択された。	2事業	一千万円以上
81	水産業と商工業が連携した見本市開催回数 (年間)	回	-	17	0	1	2	22	平成19年9月に「漁協・商工業者マッチングフェア」を開催した。	1事業	百万円以上
82	漁業協同組合・商工業者連携ブランド協議会数	協議会	-	17	0	1	5	22	漁協と卸売業者が連携し「鳴門鯛」のブランド化に着手した。	1事業	百万円以上

## 2 - 4 創業いきいき産業づくり

83	新規創業者等の事業計画認定件数(累計)	件	-	17	-	17	150	22	県内創業者に対して各種支援を行う制度を創設した。今後も様々な業種や規模の創業を奨励し支援する。	1事業	一千万円以上
84	バイオマス利活用モデル地区数(累計)	地区	-	17	1	3	15	22	平成18年度に上勝町で木質バイオマス利用設備が導入された。平成19年度に那賀町がバイオマスタウン構想が策定された。三好市で「なのはなプロジェクト」に着手した。		(ゼロ予算事業)
85	創業に関する講座の受講者数(累計)	人	-	17	502	883	1,200	22	幅広い年齢層を対象とした創業に関する講座を開催した。今後も創業の促進に努める。	1事業	一千万円以上
86	投資事業有限責任組合による投資企業数 (累計)	社	3	17	5	8	10	22	技術等に特長のあるベンチャー企業等に投資を行うことにより、企業の資金需要に対応した。		
87	創業を目指す者に対する新規融資件数 (累計)	件	87	17	200	274	500	22	順調に利用されており、今後も様々な業種の創業を支援する。	2事業	一億円以上
88	「徳島のSOHO事業者サイト」登録事業者数 (累計)	社	33	17	48	57	70	22	セミナーの開催やSOHO総合支援サイトの運営等によりSOHO事業者を総合的に支援した。登録事業者数は、順調に増加している。	1事業	一千万円以上

印は20年度版で上方修正

(19年度実績値は、平成20年3月31日時点)

番号	指 標 名	単位	現況値	年度	<参考> 実績値 (18年度)	実績値 (19年度)	目標値	年度	進捗状況の説明	政策評価対象 関連事業	
										事業数	H20事業費
										89	「お試し発注制度」による発注事業所数 (累計)
90	経営革新承認件数(累計)	件	151	17	198	224	300	22	次代のオンリーワンを目指して経営革新に取り組む県内中小企業を広く支援した。数値は順調に増加している。	1事業	百万円以上
91	「脱石油」実証実験の取り組み数(累計)	件	-	17	0	2	10	22	菌床シイタケ(三野町)の冬期加温装置の実用化に向けたデータ収集とダム流木やおが屑などを原料(那賀町)に移動式木質ペレット製造システムの実用化に向けた実証実験を行った。	1事業	百万円以上

## 2 - 5 新たな雇用と働きやすさとくしまづくり

92	徳島県有効求人倍率(年平均)	倍	0.80	17	0.92	0.89	1.00	22	19年度実績(平成19年平均)は前年度実績(平成18年平均)より下降しており、雇用情勢は改善の動きが弱くなっている。		
93	「コールセンター」等情報通信関連産業の新規雇用者数(累計)	人	-	15	500	600	1,000人以上	22	新たに1企業を奨励指定し、累計5企業になった。	1事業	一億円以上
94	働きやすい職場づくり支援アドバイザー派遣件数(累計)	件	-	17	-	30	120	22	派遣の増加を図るため事業の広報に努めている。	1事業	百万円以上
95	「障害者雇用促進憲章」(又は条例)の制定				-	制定	制定	19	平成19年12月に「とくしま障害者雇用促進憲章」を制定し、目標を達成した。		
96	民間企業の障害者雇用率	%	1.41	17	1.33	1.49	法定雇用率以上	22	19年度実績(平成19年6月1日現在)は法定雇用率1.80%を下回っているものの、労働局など関係機関と連携し、障害者雇用を促進するための啓発活動や障害者の職業能力開発に向けた訓練等を実施したことにより、前年度より0.16ポイント上昇した。	3事業	一千万円以上
97	企業立地優遇制度適用指定企業(累計)	社	21	17	24	27	35	22	新たに3企業を奨励指定し、累計27件になった。	1事業	一億円以上
98	介護保険サービス従事者(居宅)等増加数	人	-	17	264	400	800	19~22	市町村と連携しながら、介護サービス事業者への適正な指導に努めており、順調に従事者数は増加している。		
99	徳島県若年就職サポートセンターを活用した就職件数(累計)	人	829	17	1,396	1,929	3,000	22	ハローワークの出先窓口である徳島学生職業情報センターを併設し、職業相談から職業紹介までの雇用関連サービスを1箇所で開催していることから、就職件数は順調に推移している。	1事業	百万円以上

印は20年度版で上方修正

(19年度実績値は、平成20年3月31日時点)

番号	指 標 名	単位	現況値	年度	<参考> 実績値 (18年度)	実績値 (19年度)	目標値	年度	進 捗 状 況 の 説 明	政策評価対象 関連事業	
										事業数	H20事業費
										100	徳島県若者サポートステーションにおける相談件数(累計)
101	徳島県就労支援プラザを活用した就職件数(累計)	人	154	17	220	279	470	22	Uターン等希望者や中高年齢者に対する求人情報の提供やきめ細やかな職業相談等を実施していることから、目標達成に向けほぼ順調に推移している。	3事業	一千万円以上
102	緑の研修生の定着数	人	-	17	-	8	30	22	平成18年度から再スタートした緑の研修生制度を受講した研修生が平成19年度に8名定着した。	2事業	百万円以上
103	自立支援プログラムを活用した就職件数(累計)	人	-	17	35	81	50	22	母子家庭の母に対して、技能や資格を修得するための講習会や母子自立支援プログラムの策定を実施し、就労を支援した。	1事業	一千万円以上
<b>2 - 6 新鮮とくしまブランド戦略の展開</b>											
104	「とくしまブランド」輸出品目数(累計)	品目	1	17	2	3	10	22	東アジアにおいて「なると金時」や「鳴門わかめ」、「タチウオ」が定着。	1事業	百万円未満
105	「阿波尾鶏」出荷羽数	万羽	199	17	214	225	300	22	平成19年度は225万羽を出荷し、目標達成に向け順調に推移している。	1事業	一千万円以上
106	農林水産物ブランド品目飛躍数	品目	4	17	12	12	34	22	「新鮮 なっ!とくしま」号の展開により「徳島ならではの」のPRを実施した。(「ブランド品目」の選定は、平成22年度に実施予定)	2事業	一千万円以上
107	県外における「とくしまブランド」協力店数	店舗	-	17	0	14	12	22	「とくしまブランド協力店制度」を創設、京阪神や京浜地域で14店舗を登録し、支援している。	2事業	一千万円以上
108	「とくしまブランド」輸出拠点数	箇所	1	17	1	2	5	22	「台湾」及び「韓国」で本県農林水産物が定着。	1事業	百万円未満
109	園芸品目の産出額	億円	663	17	650	-	700	22	「ブランド産地強化計画」の作成及び、その目標を達成するための取り組みを支援した。(ブランド産地の強化:ハード34箇所、ソフト28箇所 県域課題の解決:3団体)(平成19年度実績は、21年1月頃判明)	3事業	一億円以上
110	「オンリーワン畜産新ブランド」の作出				-	開発中	1ブランド 作出	22	「畜産新ブランド」の作出のため、試験研究機関で研究開発を進めている。	1事業	百万円以上

印は20年度版で上方修正

(19年度実績値は、平成20年3月31日時点)

番号	指 標 名	単位	現況値	年度	<参考> 実績値 (18年度)	実績値 (19年度)	目標値	年度	進 捗 状 況 の 説 明	政策評価対象 関連事業	
										事業数	H20事業費
111	漁業生産額（海面）	億円	140	17	148	-	148	22	生産額の上昇に繋がる単価のアップを図るべく、「徳島の活鱧フェア」、「漁協・商工業者マッチングフェア」、「新鮮なっ！とくしま号」によるPR等のブランド化施策を実施。（19年度実績は21年3月頃に判明）	1事業	百万円以上
112	「ブランド農林水産物」の新技术開発数（累計）	件	8	17	9	10	17	22	ウルの栽培技術を確立し、新ブランド創出の基とした。	1事業	百万円以上
113	実用化した新技术数（累計）	件	-	17	0	3	12	22	普及課題として位置づけた「県西部におけるたらのめ新品種の導入」等3課題について、生産現場において実用化された。	1事業	百万円以上
114	「手入れ砂代替技術」導入戸数（累計）	戸	44	17	64	140	100	22	目標値は達成できたが、さらに高い目標値を設定し、達成に向けて推進する。	1事業	百万円未満
115	基幹用水路の整備延長	km	34	17	39	45	60	22	平成19年度は板野町・藍住町等で4.9km及び阿南市で0.4kmの計5.4kmの基幹用水路の整備が行われた。		
116	ほ場の整備率	%	63	17	63	65	66	22	平成19年度はパイプラインや区画整理により242haのほ場の整備が行われた。	1事業	一億円以上
117	徳島県が関係する資源回復計画数	計画	1	17	1	2	2	22	平成20年3月に「徳島県紀伊水道海域小型機船底びき網漁業包括的資源回復計画」を策定した。	2事業	百万円以上

## 2 - 7 林業飛躍プロジェクトの推進

118	間伐材の搬出材積量	千m3	34	17	61	68	100	22	新たな林業機械の導入等により約7千m3の増産が図られた。	2事業	一億円以上
119	「森のエキスパート（高能率間伐材搬出技術者）」育成者数（累計）	人	54	17	84	94	120	22	機械の導入と併せ、新たに森のエキスパートを10名育成した。	2事業	百万円以上
120	林内路網開設延長（累計）	km	5,426	17	5,577	5,756	5,900	22	平成19年度は、林道19km、作業道160kmの合計179kmを開設した。	3事業	一億円以上
121	高性能林業機械導入数（累計）	セット	9	17	15	18	30	22	既存機械との組み合わせたものを含め、3セット導入された。	2事業	一千万円以上
122	「県産木造住宅供給システム」による建築戸数	戸	127	17	148	139	150	22	県内外での展示会、セミナーを開催し、県産木造住宅の普及と需要拡大を図った。	1事業	一千万円以上
123	公共事業での県産木材使用量	m3	7,501	17	8,813	10,015	8,000	22	木材利用推進連絡協議会の開催、公共事業でのスギ合板の利用を促進した結果、使用量が増加した。	1事業	一千万円以上
124	「徳島県木材認証制度」登録事業所数	事業所	-	17	142	165	150	22	制度のPRと事業所指導を実施するとともに、認証木材を利用した住宅への低利融資制度を創設するなど、制度の普及を進めた。		

印は20年度版で上方修正

(19年度実績値は、平成20年3月31日時点)

番号	指 標 名	単位	現況値	年度	<参考> 実績値 (18年度)	実績値 (19年度)	目標値	年度	進 捗 状 況 の 説 明	政策評価対象 関連事業	
										事業数	H20事業費
125	木質バイオマス利用実施例（累計）	件	9	17	11	11	14	22	平成19年度は木質ペレットボイラーの実証試験や協議会を実施し業界への普及を図ってきたが、今後も導入に向けた働きかけを推進していく予定。		

### 基本目標3「環境首都とくしま」の実現

#### 3 - 1 環境首都とくしま体制づくり

126	「環境首都とくしま創造センター」の開設		-	17	-	検討	開設	21	21年度内の開設に向けて、検討に着手した。		
127	「とくしま地球温暖化対策推進条例」の制定		-	17	-	検討	制定	20	「とくしま地球温暖化対策推進条例（仮称）」の20年度制定に向けた検討に着手した。		
128	「環境首都とくしま憲章」の県民への浸透度	%	63.7	17	69.6	63.6	100	22	「環境首都とくしま憲章」の普及やこれに基づく自発的な取り組みを促進した。		
129	「とくしま環境学習サポートセンター（仮称）」の開設				-	検討	開設	21	21年度までの開設に向けて、検討に着手した。		
130	環境学習の新規実施（累計）	件	-	17	-	4	12	22	「とくしま環境学びプラン」に基づく環境教育・環境学習を実施した。	1事業	百万円未満
131	環境アドバイザー派遣件数	件	24	17	36	34	45	22	事業者や環境団体に対して、環境アドバイザーを派遣した。	1事業	百万円以上
132	「学校版環境ISO」認証取得校数	校	39	17	78	96	200	22	「学校版環境ISO」認証取得を通じて、各学校で環境保全活動を推進した。認定校数 10校、29校、39校、18校	1事業	百万円以上
133	企業の環境に配慮した取り組みを支援する研修受講者数（累計）	人	-	17	82	143	260	22	とくしま経営塾「平成長久館」事業としてISO14001に関する研修を実施し、受講者は順調に増加している。	1事業	一千万円以上
134	「地域版とくしま環境県民会議」の設置数	箇所	-	17	-	0	3	22	設置に向けた取り組みについて、関係団体に働きかけを行った。		
135	とくしま環境科学機構における共同研究数	研究	-	17	3	4	5	22	風力発電システムやバイオマスエネルギー等の環境技術に関する研究を行った。	1事業	百万円以上
136	環境マネジメントシステムにおける環境目標の達成率	%	97.8	17	95.9	-	98	22	環境マネジメントシステムにより環境基本計画を効果的に推進するとともに、環境の視点を取り入れた各種施策の継続的改善を実施した。19年度実績は20年秋頃に判明の予定。	1事業	百万円未満

#### 3 - 2 地球環境にやさしい社会づくり

137	温室効果ガス排出量	千t	6,727	2	-	-	6,054	22	直近のデータである2005年の県内排出量は7,405千tとなっており、温室効果ガス排出量は基準年に比べて増加していることから、地球温暖化対策についてなお一層の取り組みを進める。	3事業	一千万円以上
-----	-----------	----	-------	---	---	---	-------	----	--	-----	--------

印は20年度版で上方修正

(19年度実績値は、平成20年3月31日時点)

番号	指 標 名	単位	現況値	年度	<参考> 実績値 (18年度)	実績値 (19年度)	目標値	年度	進捗状況の説明	政策評価対象 関連事業	
										事業数	H20事業費
										138	新エネルギーの導入を促進する補助件数 (累計)
139	エコドライブなどを奨励する環境に配慮した事業所数	事業所	-	17	14	-	20	22	事業所におけるエコドライブや適正冷暖房等の省エネの取り組みを推進した。19年度実績は20年秋頃に判明の予定。		
140	県の事務及び事業に伴い排出される温室効果ガス総排出量				3.6%削減	-	5%削減 (15年度比)	21	エコオフィスとくしま県率先行動計画(第3次)に基づき、取り組みを実践した。19年度実績は20年秋頃に判明の予定。	1事業	百万円以上
141	地球温暖化防止活動推進員による県民への普及の活動回数	回	277	17	307	-	280	22	学校・地域等の活動に推進員を派遣し、地球温暖化防止の啓発に努めた。19年度実績は20年秋頃に判明の予定。	1事業	百万円未満

### 3 - 3 美しく潤いのあるとくしまづくり

142	木製(間伐材)ガードレール等の設置延長 (累計)	m	2,075	17	2,655	4,007	5,000	22	今年度、日和佐牟岐線(美波町奥河内)他9箇所において1,352mの木製ガードレールを設置。	1事業	百万円以上
143	汚水処理人口普及率	%	34.3	15	40.7	-	48	22	きれいな水環境の創造に向け、下水道事業を始め各種施策を推進している。なお、平成19年度末の実績は、20年秋頃に確定する見込み。		
144	徳島県景観形成指針				作業中	策定	策定	19	景観づくりの主体である市町村が景観行政を推進していくよう、平成19年7月31日に徳島県景観形成指針を策定。		
145	景観行政団体数	団体	2	17	3	3	8	22	今年度末では、上勝町、三好市、那賀町が景観行政団体として登録済み。		
146	「とくしま風景街道」ルート数	ルート	-	17	0	2	3	22	今年度、「いやし・もてなし神山街道」と「光まわり回廊~阿南~」の2ルートを登録。		
147	電線類を地中化した県管理道路の延長	km	7.0	17	8	8.5	8.5	22	今年度、常三島中島田線(徳島鴨島線)、元町沖洲線において整備が完了し、目標8.5kmを達成。	1事業	一千万円以上
148	公共施設緑化実施箇所	箇所	128	17	130	133	142	22	今年度、アグリあなんスタジアム他2箇所の緑化が完了し、目標達成に向け順調に進捗。	1事業	百万円以上
149	公園・緑地等における緑化面積	ha	149	17	151	172	181	22	今年度、月見ヶ丘海浜公園(14ha)、南部健康運動公園(7ha)の2公園が供用開始。	2事業	一億円以上
150	公共下水道による処理人口	人	93,600	17	96,358	-	115,000	22	流域下水道事業を推進するとともに、市町が実施している公共下水道の早期供用を図っている。なお、平成19年度末の実績は、20年秋頃に確定する見込み。	1事業	一億円以上
151	旧吉野川流域下水道(第1期計画)		整備中	17	整備中	整備中	供用開始	20	平成20年度末供用開始に向け、順調に整備を進めている。	1事業	一億円以上
152	公共下水道を供用している市町村数	市町村	6	17	6	6	13	22	新たに海陽町海部処理区において供用を開始し、平成19年度末は、3市3町10処理区で供用。		

印は20年度版で上方修正

(19年度実績値は、平成20年3月31日時点)

番号	指 標 名	単位	現況値	年度	<参考> 実績値 (18年度)	実績値 (19年度)	目標値	年度	進捗状況の説明	政策評価対象 関連事業	
										事業数	H20事業費
										153	農山漁村の生活排水処理施設による処理人口
154	合併処理浄化槽による処理人口	人	194,381	17	207,809	-	245,000	22	市町村が実施する合併処理浄化槽の整備に対し助成を行った。19年度未実績は20年秋頃に判明の予定。	1事業	一億円以上
155	浄化槽法定検査受検率	%	33.4	17	37.2	37.6	48.0	22	浄化槽の適正な維持管理を推進するための普及啓発を実施した。	1事業	百万円以上
156	河川の浚渫土量（累計）	m3	77,000	17	80,000	82,000	88,000	22	田宮川等の浚渫を2,000m3実施した。	1事業	一千万円以上
157	掃海実施面積（累計）	km2	-	17	29	62	100	22	県内4市においてひき網漁船を用いて掃海を実施した。	1事業	百万円以上

### 3 - 4 しっかり守るいい生活環境づくり

158	大気環境基準の達成状況（二酸化窒素）	%	100	17	100	100	100	22	テレメ - タシステム等により大気環境の常時監視を行った。	1事業	百万円以上
159	アイドリングストップ協力店の拡大	店舗	193	17	434	490	800	22	小売店舗に協力を求め、アイドリングストップを駐車場利用者に積極的に周知してもらえるアイドリングストップ協力店を拡大した。	1事業	百万円以上
160	大気環境等の工場・事業場等の規制の適合状況	%	100	17	100	100	100	22	工場・事業場等に立入調査を実施し、必要に応じ指導を行った。	1事業	百万円以上
161	大気環境中アスベストの評価地点数	地点	11	17	11	13	17	22	19年度は定点の9地点と新規2地点（延べ13地点）で測定を実施。	1事業	百万円未満
162	大気移動測定車を活用した大気環境測定調査市町村	市町村	14	17	16	19	全市町村	22	19年度は6市町（延べ19市町）で測定を実施。	1事業	百万円以上
163	自動車騒音の状況及び対策の効果等を把握するための評価区間	区間	17	17	24	39	68	22	19年度は15区間で評価を実施。測定は計画的に実施。	1事業	百万円以上
164	化学物質排出自主削減事業所数（累計）	事業所	11	17	25	29	25	22	化学物質自主管理促進の結果、徳島県全体としての化学物質排出量は減少傾向にあり、事業者における自主管理が着実に進んでいる。		(ゼロ予算事業)
165	分析法開発数（累計）	件	-	17	1	3	5	22	液体クロマトグラフ質量分析装置による化学物質の分析方法を開発した。	1事業	百万円以上
166	エコファーマー認定数（累計）	人	1,112	17	1,295	1,361	1,400	22	生産部会等集団での認定を推進し、目標達成に向け順調に推移している。	2事業	百万円以上
167	第6次総量削減計画				-	策定	策定	19	平成19年6月に第6次総量削減計画を告示し、各種発生源への立入調査を実施した。	1事業	百万円未満

番号	指 標 名	単位	現況値	年度	<参考> 実績値 (18年度)	実績値 (19年度)	目標値	年度	進捗状況の説明	政策評価対象 関連事業	
										事業数	H20事業費
										<b>3 - 5 とくしま循環の「わ」社会づくり</b>	
168	リサイクル率（一般廃棄物）	%	18.9	17	19.7	-	26	22	リサイクル率は順調に向上しており、引き続きリサイクルを推進していく。19年度実績は翌年度末に判明する。	1事業	百万円未満
169	リサイクル率（産業廃棄物）	%	55	15	-	-	59	22	リサイクル率は順調に推移しており、引き続きリサイクルを推進していく。調査は5年に1度行われる。	2事業	百万円以上
170	「不法投棄等撲滅啓発リーダー」研修受講者数（累計）	人	-	17	113	216	500	22	20年1月に中央部研修を実施し48名が受講した。20年2月に南・西部研修を実施し南部26名、西部29名が受講した。	1事業	百万円以上
171	環境物品等の調達率	%	68%～100%	17	79%～100%	-	100% (全分野)	22	文具類・OA機器をはじめとする17分野において、方針に基づいた調達を実施した。19年度実績は、20年秋頃に判明の予定。		
172	1人1日当たりのごみ排出量	g	1,014	17	1,002	-	889	22	ごみを少なくする配慮が浸透しつつある。引き続きごみ発生・排出抑制の普及啓発を推進していく。19年度実績は翌年度末に判明する。	1事業	百万円未満
173	使用済み農業用フィルム（各種ビニール類）回収率	%	69.6	17	67.1	-	85	22	排出者に適正処理についての周知徹底・意識啓発を図った。（19年度実績は20年夏頃に判明）	2事業	百万円以上
174	使用済み農業用フィルム（各種ビニール類）リサイクル率	%	92.1	17	95.3	-	94	22	排出者、処理事業者のリサイクル意識の向上を図った。（19年度実績は20年夏頃に判明）	2事業	百万円以上
175	農山漁村の生活排水処理施設による緑農地還元率	%	62	17	62	-	80	22	阿南市で集落排水事業を推進し、施設の整備を図っている。（平成19年度実績は、20年秋頃に判明）		
176	家畜排せつ物の堆肥化率	%	87	17	89	92	97	22	家畜排せつ物の処理を簡易な施設で対応している経営体に対し、処理施設整備を推進した結果、目標達成に向け整備率は向上している。	1事業	百万円以上
177	環境関連産業の立地を促進する貸付金・補助金制度の実施（累計）	件	1	17	1	1	2	22	17年度に1件の貸付及び補助金交付を実施。引き続き制度のPRに努め、目標達成を目指す。	1事業	一千万円以上
178	リサイクル製品の認定	製品	12	17	18	19	40	22	新規認定の見込みは1製品。今後は新規認定の増大に向けた制度のPRと確実な認定更新の推進に努める。	1事業	百万円未満
179	3Rモデル事業所の推進	事業所	9	17	14	16	25	22	新規認定の見込みは2事業所。今後は新規認定の増大に向けた制度のPRと確実な認定更新の推進に努める。	1事業	百万円未満
180	「循環型社会形成推進地域計画」の策定数	計画	-	17	1	2	5	22	19年度は1計画を策定。引き続き市町村における地域計画の策定を推進する。	1事業	百万円未満
181	企業との連携による不法投棄監視協力企業等（累計）	社・団体	-	17	2	5	10	22	19年度は3社の協力を得て、目標達成に向け順調に進捗している。	2事業	一千万円以上

印は20年度版で上方修正

(19年度実績値は、平成20年3月31日時点)

番号	指 標 名	単位	現況値		<参考> 実績値 (18年度)	実績値 (19年度)	目標値		進 捗 状 況 の 説 明	政策評価対象 関連事業	
			年度	年度			年度	年度		事業数	H20事業費
182	「優良産業廃棄物処理業者認定制度」の創設				-	検討	創設	21	21年度の創設に向け、現在制度案を検討中。		
183	産業廃棄物適正処理講習会受講者（累計）	業者	244	17	345	467	600	22	19年11月に講習会を開催し122名が受講した。目標達成に向け順調に進捗している。	1事業	百万円以上
184	特別管理産業廃棄物適正処理講習会受講者（累計）	業者	-	17	73	189	延べ200	22	19年11月に講習会を開催し116名が受講した。目標達成に向け順調に進捗している。	1事業	百万円以上
<b>3 - 6 自然との共生とくしまづくり</b>											
185	希少野生生物保護巡視団体・個人等	団体・個人	-	17	-	30	25	22	19年度から実施しており、20年1月には巡視員等を希望する者を対象に説明会を行った。19年度実績は29名、1団体。	2事業	百万円以上
186	ニホンジカモニタリング調査				調査	調査	調査	19	19年度調査分については、9月～11月にかけて調査を実施し、調査結果が判明した。	1事業	百万円以上
187	新規狩猟者の確保	人/年	149	17	125	93	180	22	講習会の開催など、新規狩猟者の確保を図った。	2事業	百万円以上
188	ニホンジカ捕獲数	頭/年	2,041	17	2,154	-	3,800	22	個体数調整捕獲、有害鳥獣捕獲などの許可捕獲及び狩猟により捕獲を進めているが、19年度実績は20年夏頃に判明の予定。	1事業	百万円以上
189	イノシシ捕獲数	頭/年	4,156	17	4,301	-	6,000	22	個体数調整捕獲、有害鳥獣捕獲などの許可捕獲及び狩猟により捕獲を進めているが、19年度実績は20年夏頃に判明の予定。	1事業	百万円以上
190	自然を再生する事業の実施地区数	箇所	1	17	1	2	2	22	竹ヶ島海中公園自然再生事業は引き続き推進中。剣山希少植物回復事業（防鹿柵整備事業）は19年度に実施済み。	1事業	一千万円以上
191	集落等で取り組んだ鳥獣被害防止施設等の整備件数（累計）	件	129	15	230	252	260	22	鳥獣被害防止に向けた啓発普及などを行いつつ、防護柵の設置や捕獲檻の整備を推進し、目標をほぼ達成した。	1事業	百万円以上
192	新たなカワウ食害防除取り組み件数（累計）	件	-	17	0	6	10	22	新たにカワウ飛来状況調査を実施した。	1事業	百万円以上
193	外来種（アライグマ）調査				-	調査	調査	19	19年度において、アライグマの捕獲個体の解析（食性・繁殖状況等）調査を実施した。		（ゼロ予算事業）
194	登山道と四国のみちの再整備ルート数（累計）	ルート	-	17	2	3	5	22	18年度に四国のみち2ルート、19年度に剣山登山道1ルートを整備済み。	1事業	一千万円以上
195	自然環境調査に基づく事業計画策定地区数（累計）	地区	23	17	30	36	43	22	平成19年度は、新たに自然環境に配慮した農業農村整備事業6地区（累計36地区）に着手した。	2事業	一億円以上

印は20年度版で上方修正

(19年度実績値は、平成20年3月31日時点)

番号	指 標 名	単位	現況値	年度	<参考> 実績値 (18年度)	実績値 (19年度)	目標値	年度	進 捗 状 況 の 説 明	政策評価対象 関連事業	
										事業数	H20事業費
196	藻場造成箇所数(累計)	箇所	-	17	1	4	6	22	鳴門地区において4箇所の藻場造成を完了した。	1事業	一千万円以上

### 3 - 7 未来を守るとくしま森林づくり

197	間伐実施面積(累計)	ha	7,062	17	14,276	21,765	30,000	22	7,489haの間伐が実施できた。	2事業	一億円以上
198	とくしま公有林化プロジェクト(とくしま 絆の森事業)による森林の取得面積(累計)	ha	393	17	727	737	1,200	22	申し込みのあった森林のうち上勝町の約18haの森林について取得に向け協議中である。このほか、海陽町の林業家から県に10haの森林が寄付された。		
199	複層林誘導面積(累計)	ha	206	17	516	906	2,800	22	昨年度の3割増しとなる390haの森林を間伐等により複層林への誘導を図った。	1事業	一億円以上
200	保安林指定面積(民有林)	ha	92,005	17	92,758	92,947	94,000	22	保安林指定手続きは、毎年計画どおりに進んでいる。	2事業	百万円以上
201	森林整備地域活動において施業の集約化に 取り組む実施協定数	協定	-	17	-	8	17	22	ほぼ計画に沿って推移しているが、他市町村でも取組を進める。	1事業	一億円以上
202	環境に配慮した森林の認証取得面積(累計)	ha	-	17	1,065	5,716	2,000	22	制度のPRや講演会の開催、森林現況調査を実施(19年度には4団体で4,651haを認証取得)	1事業	一千万円以上
203	地籍調査事業の実施市町村数	市町村	18	17	18	19	21	22	平成19年度は、新たに佐那河内村において地籍調査事業に着手した。	1事業	一億円以上
204	企業等による森づくり件数(累計)	件	2	17	5	7	10	22	森づくりに係るPR活動を行い、平成19年度は三好市と那賀町において企業による森づくり活動が行われた。	1事業	百万円未満
205	県民参加による植樹など森づくり件数(累 計)	件	-	17	2	3	5	22	「県民参加による森林づくり」として、三好市においてボランティアによる植樹活動を実施した。	1事業	百万円以上

### 基本目標4「安全・安心とくしま」の実現

#### 4 - 1 安全・安心とくしま体制づくり

206	被災建築物応急危険度判定士	人	579	17	609	594	600	22	被災建築物応急危険度判定士の育成講習会を平成20年1月24日に開催。		
207	被災宅地危険度判定士	人	171	17	210	252	340	22	被災宅地危険度判定士の育成講習会を2月15日に開催。		
208	情報ネットワーク基盤の確保				未整備	整備	整備	19	平成20年3月に整備。平成20年度から本格運用し、災害時にも県民へのホームページによる情報提供を継続的に行う。	1事業	一千万円以上

印は20年度版で上方修正

(19年度実績値は、平成20年3月31日時点)

番号	指 標 名	単位	現況値	年度	<参考> 実績値 (18年度)	実績値 (19年度)	目標値	年度	進捗状況の説明	政策評価対象 関連事業	
										事業数	H20事業費
209	災害時等応急対策関係者会議の設置				未設置	設置	設置	19	平成20年2月に設置し、災害発生時の応急対策に重要な役割を果たすライフライン事業者等との連携強化を行った。		
210	「消防広域化推進計画」の策定				未策定	策定中	策定	19	課題等について引き続き検討を行い、平成20年度の早期に策定予定。	1事業	百万円未満
211	水防情報伝達システムの拡充				-	更新に着手	システム 全面更新	19	水防情報伝達システムの更新・改良工事に着手し、平成20年度内に完成。		
212	河川の水位局数	局	58	17	58	58	98	22	水位観測局の設置河川・設置位置の検討を進めた。	1事業	一千万円以上
213	潮位情報提供システムの整備				-	仕様検討	整備	21	潮位情報システムの概略設計が完了しており、今後システム整備に向けて取り組む。	1事業	一千万円以上
214	浸水想定区域の指定河川数	河川	-	17	4	7	11	22	平成19年度は、園瀬川、川田川、桑野川の3河川を指定。	1事業	一千万円以上
215	土砂災害ハザードマップ等による防災意識啓発箇所数	箇所	-	17	57	200	1,900	22	鳴門市北灘地区他約140箇所地元説明会を開催し、防災意識啓発を行った。	2事業	一億円以上
216	「広域防災活動計画」の作成				未作成	作成	作成	19	平成20年3月に作成。今後は、この計画を総合防災訓練の場で検証するなど、防災体制のより一層の充実に努める。		
217	「徳島防災情報ポータルサイト」の整備				未整備	整備	整備	19	平成20年3月に整備。平成20年6月から供用開始し、防災や危機管理等の情報を県民に分かりやすく提供する。		
218	「全国瞬時警報システム」の整備				未整備	整備	整備	19	平成20年3月に運用開始し、迅速・的確な初動体制の確保を図った。	1事業	百万円未満
219	災害発生時における「総合情報通信ネットワークシステム」の再整備		実施設計	17	整備中	整備完了	整備完了	19	平成20年3月に整備工事完了し、災害発生時における被災情報等の迅速な収集と的確な災害対応を行う。		
220	防災センター利用者数(累計)	人	76,390	17	103,346	131,390	300,000	22	防災に関する体験学習、研修の場としての防災啓発施設として、利用者は順調に推移している。	1事業	百万円以上
221	耐震相談件数(累計)	件	560	17	633	725	1,150	22	平成19年度は92件の相談件数があった。今後は、市町村での広報を依頼する等、広報活動を強化する。	1事業	百万円以上
222	「第5次徳島県保健医療計画」及び新たな「徳島県健康増進計画」の策定		-	17	-	策定	策定	19	原案を作成し、パブリックコメント(～1/11)実施。 平成20年3月26日策定		
223	「徳島県がん対策推進計画」の策定		-	17	-	策定	策定	19	原案を作成し、パブリックコメント(～1/11)実施。 平成20年3月26日策定	2事業	一千万円以上

印は20年度版で上方修正

(19年度実績値は、平成20年3月31日時点)

番号	指 標 名	単位	現況値	年度	<参考> 実績値 (18年度)	実績値 (19年度)	目標値	年度	進捗状況の説明	政策評価対象 関連事業	
										事業数	H20事業費
										<b>4 - 2 とくしま - 0 (ゼロ) 作戦の展開</b>	
224	南海地震発生時における最大死亡者数	人	4,300		-	-	0	-	平成17年度に策定した「徳島県地震防災対策行動計画」に基づき、南海地震対策の推進に努めた。		
225	県有防災拠点施設等の耐震化率	%	34	17	50	55	70	22	今年度は竣工する施設が少ないため大幅な耐震化率の上昇はないが、計画どおりに改修工事等が着手されている。		
226	木造住宅耐震診断の実施戸数（累計）	戸	2,144	17	2,657	3,472	10,000	22	今年度、市町村と協力し、戸別訪問や押しかけ講座等の「耐震診断重点啓発事業」を展開し、前年比較で6割の増となる815戸の耐震診断を実施。	1事業	一千万円以上
227	自主防災組織率	%	56.8	17	65.2	72.1	100	22	寄り合い防災講座や補助金等による支援により、自主防災組織の結成・活動活性化に努めている。	2事業	百万円以上
228	4県（三重県・和歌山県・徳島県・高知県） 自主防災組織交流大会の開催				-	開催	開催	19	県郷土文化会館を会場に、4県の自主防災組織関係者等が一堂に会し、地震防災に関する情報共有や意見交換等を行い、地域防災力の強化を図った。		
229	地域防災推進員養成研修会受講者数（累計）	人	54	17	108	228	300	22	自主防災組織の立ち上げや地域の防災活動に取り組む地域の防災リーダー「地域防災推進員」の養成に努めた。	1事業	百万円未満
230	寄り合い防災講座の開催				154	224	年200回 開催		市町村との協働や各種啓発により、目標値を達成。		(ゼロ予算事業)
231	災害ボランティアリーダー等育成講習会参加者数（累計）	人	1,199	17	1,665	1,900	3,000	22	防災センターを拠点に研修会等を開催するなど、災害ボランティアリーダー等の育成に努めた。	1事業	百万円以上
232	津波避難困難地域を解消するための補助制度		単独補助制度の創設	18	-	促進	津波避難施設等の整備	20	「緊急津波対策事業費補助金」により、地域ごとの津波避難計画に基づき市町が実施する、避難路や避難施設等の整備事業に対して補助を行い、津波避難困難地域の解消に努めた。	1事業	一千万円以上
233	木造住宅耐震改修等への支援	戸	82	17	169	266	県民ニーズに100%対応	19 ~ 22	県内全市町村が事業に取り組み、県民の要望には全て対応できた。今年度、97件の改修等の支援を行った。	1事業	一千万円以上
234	県立高等学校施設耐震化率	%	31	17	42	45	75	22	県立学校施設の耐震改修は5校で完了、4校で実施中、改築は5校で完了、3校で実施中	2事業	一億円以上
235	都市公園施設の防災拠点施設等の耐震化率	%	50	17	50	70	70	22	平成19年度、ソイジョイ武道館、オロナミンC球場の耐震化が完了し、目標を達成。		
236	災害拠点病院の整備	病院	8	17	8	9	9	19	平成19年9月に阿南医師会中央病院を新たに災害拠点病院として指定した。		

印は20年度版で上方修正

(19年度実績値は、平成20年3月31日時点)

番号	指 標 名	単位	現況値	年度	<参考> 実績値 (18年度)	実績値 (19年度)	目標値	年度	進捗状況の説明	政策評価対象 関連事業	
										事業数	H20事業費
										237	災害拠点病院等における医療救護班の整備
238	海岸堤防の耐震調査の実施海岸数	海岸	-	17	1	7	7	22	平成19年度、内妻、那佐海岸他4海岸の調査が完了した。		
239	海岸保全施設整備海岸数	海岸	4	17	5	5	6	22	直轄撫養港海岸が平成19年度に工事着手。	2事業	一億円以上
240	地震防災対策行動計画に基づき実施する緊急輸送道路(延長24km)の改良率	%	-	17	15	56	100	22	国道438号府能バイパス(全長5km)が完成供用した。	3事業	一億円以上
241	県管理の緊急輸送道路における要耐震橋梁の耐震化率	%	89	17	91	94.6	100	22	平成19年度末時点で、国道438号第1本根川橋(神山町)、県道鳴門池田線中央橋(美馬市)を含む7橋の対策完了。	2事業	一億円以上
242	浅川港浅川地区耐震物揚場の進捗率	%	-	17	42	59	100	20	平成18年度に耐震物揚場の整備に着手し、今年度は整備を促進。引き続き平成20年度の概成に努める。	1事業	一千万円以上
243	南部健康運動公園(防災機能を持ったオープンスペース)の整備【再掲】		整備中	17	整備中	多目的広場 完成	多目的広場 を含むテニスコートエリアの 整備完了	22	テニスコートエリアのうち、多目的広場の整備が完了。	1事業	一億円以上
244	防災のための図上訓練の実施				1	1	年1回開催		平成20年1月17日に、東南海地震と南海地震の時間差発生や国の活動要領に基づく応援の受け入れ体制の検証などを行う県図上訓練を実施した。		

#### 4 - 3 自然災害・安心県土づくり

245	重点整備河川の整備率	%	66	17	71	71	81	22	河川の拡幅に伴い、飯尾川で橋梁の架け替えを2橋実施中。福井川、桑野川では堰の改築に着手するなど整備を進めている。	3事業	一億円以上
246	角ノ瀬排水機場(徳島市)の新設		整備中	17	整備中	整備中	完成 (20m <sup>3</sup> /s)	20	頻発する内水被害を早期に軽減するため、国土交通省により平成20年度完了を目指し整備が進められている。		
247	川島排水機場(吉野川市)の改築		改築中	17	改築中	改築中	完成 (18m <sup>3</sup> /s)	21	頻発する内水被害を早期に軽減するため、国土交通省により平成21年度完了を目指し改築が進められている。		
248	長安口ダムの改造				-	事業着手	事業着手	19	那賀川の治水・利水安全度の向上を図るため、国土交通省により平成19年度から長安口ダムの改造に事業着手された。		
249	大津田排水機場(阿南市)の新設		整備中	17	整備中	完成	完成 (10m <sup>3</sup> /s)	19	頻発する内水被害を早期に軽減するため、国土交通省により整備が進められ、平成19年度に完成。		

印は20年度版で上方修正

(19年度実績値は、平成20年3月31日時点)

番号	指 標 名	単位	現況値	年度	<参考> 実績値 (18年度)	実績値 (19年度)	目標値	年度	進 捗 状 況 の 説 明	政策評価対象 関連事業	
										事業数	H20事業費
250	水門・排水ポンプ場等の整備及び更新箇所数	箇所	8	17	10	12	13	22	残る1箇所の着工時期を検討している。		
251	海岸侵食対策事業整備箇所数	箇所	4	17	5	5	6	22	今津坂野海岸で大規模突堤の整備を進めている。	1事業	一億円以上
252	漁港海岸施設整備箇所数	箇所	-	17	2	2	5	22	瀬戸小島田及び中林で整備が完了した。	3事業	一億円以上
253	土砂災害の危険性のある人家の保全数	戸	20,100	17	20,600	21,200	21,900	22	三好市下川地すべり区域他26箇所の整備を完了し、600戸を保全した。	3事業	一億円以上
254	地域高規格道路阿南安芸自動車道(日和佐道路 延長9.3km)の供用率【再掲】	%	- (工事着手 5.9km)	15	6.2km 概ね完了	67	67% (一部 供用6.2km 残区間工事 展開)	22	平成19年5月12日に、由岐IC~美波町北河内間6.2kmが開通。		
255	一般国道32号猪ノ鼻道路(延長8.4km)の整備【再掲】		調査中	17	調査中	用地交渉・ 工事に着手	工事施工中	22	用地交渉に着手し、一部の地権者と契約が完了したほか、本線工事に着手。		
256	一般国道32号改築防災(大歩危工区延長2.5km)の整備		調査中	17	調査中	用地交渉に 着手	工事施工中	22	用地交渉に着手し、一部の地権者と契約が完了。		
257	生命線道路の強化率(10箇所)	%	29	17	32	39	50	22	異常気象時の孤立予防対策として、生命線道路の整備を促進。	2事業	一億円以上

#### 4 - 4 とくしま食の安全安心ブランドの推進

258	とくしま安2農産物認証件数(累計)	件	13	17	34	40	60	22	平成16年度に創設した制度であり、認定件数は増加している。制度周知のため、さらなるPRを実施する。	1事業	百万円以上
259	食の安全・安心県民会議・シンポジウム参加者数(累計)	人	463	17	771	1,054	1,500	22	食に関するシンポジウムの開催等により、参加者数は、目標達成に向け、順調に推移している。	2事業	百万円以上
260	「食の知」向上人材育成事業への参加者数(累計)	人	-	17	97	709	200	20	「食の安全・安心カレッジ」、「とくしま食のあんキッズカレッジ」及び「食の知お届け講座」の開催等により、参加者数は、目標を達成した。	1事業	百万円未満
261	リスクコミュニケーターの延べ人数	人	-	17	55	86	100	20	「リスクコミュニケーター育成講座」の開催により、リスクコミュニケーターの延べ人数は、目標達成に向け、順調に推移している。	1事業	百万円未満
262	BSE全頭検査		実施	17	実施	実施	継続実施		平成13年10月18日よりBSE全頭検査を継続実施。	1事業	百万円以上
263	全畜産農家の立入検査				全戸	全戸	継続実施		高病原性鳥インフルエンザの発生予防等のため、全畜産農家を対象に飼養衛生管理基準の徹底指導を実施。	2事業	一千万円以上
264	安全・安心のための新しい技術開発数(累計)	件	-	17	2	2	5	22	食肉識別技術、安全安心な生産技術の開発に取り組んでおり、次年度以降も引き続き研究開発を行う。	1事業	一千万円以上

印は20年度版で上方修正

(19年度実績値は、平成20年3月31日時点)

番号	指 標 名	単位	現況値	年度	<参考> 実績値 (18年度)	実績値 (19年度)	目標値	年度	進捗状況の説明	政策評価対象 関連事業	
										事業数	H20事業費
265	I P M実践モデル地区数(累計)	地区	-	17	-	2	8	22	IPM実践指標を充実させ、目標達成にむけて引き続き推進する。	2事業	一千万円以上
266	食品の適正表示率	%	92.4	17	93.7	94.4	95	22	消費者による食品表示監視体制を整えるとともに、食品表示適正化推進員の育成を図り、事業者自らの適正表示を推進している。	1事業	百万円以上
267	計画に基づく重点的監視指導		実施	17	実施	実施	継続実施	19 ~ 22	「食品衛生監視指導計画」に基づき、食品の製造から販売までの各段階における監視指導を実施している。	1事業	一千万円以上
<b>4 - 5 とくしま安心くらしづくり</b>											
268	県立中央病院と徳島大学病院の連携による外来・入院・研修研究拠点機能の再編				施設の建設・運営について合意	協議及び連携実施	22までに実施	22	施設・設備面の施工及び維持管理について協議を行うとともに、両病院のソフト面での各種機能連携の検討を進めた。		
269	地域医療研修の参加者数(累計)	人	-	17	24	54	100	22	平成19年8月に夏期地域医療研修を開催し、30名の医学部生が研修に参加した。	1事業	百万円以上
270	県立中央病院の改築のための設計及び建築工事		基本設計	17	実施設計	実施設計	概成	22	実施設計を進めるとともに、改築予定地の水路付け替え工事、埋蔵文化財調査等を進め、平成20年度着工、22年度の概成を目指した取り組みを進めた。		
271	災害拠点病院の整備【再掲】	病院	8	17	8	9	9	19	平成19年9月に阿南医師会中央病院を新たに災害拠点病院として指定した。		
272	災害拠点病院等における医療救護班の整備【再掲】	チーム	1	17	2	7	14	22	平成19年度は、5チームが国のDMAT(災害派遣医療チーム)研修を受講した。		
273	救急医療連携体制の構築		-	17	-	医療計画に位置づけ	19医療計画に位置づけ20構築推進		「徳島県保健医療計画」(平成20年3月策定)に安全で質の高い救急医療体制の充実・強化を位置づけた。		
274	消防防災ヘリに「ドクターヘリ機能」を導入				-	検討中	導入	20	「消防防災ヘリコプターへのドクターヘリ機能導入検討会」を開催し、諸課題の解消に向け検討をしてきた。平成20年度のできるだけ早い時期に「ドクターヘリ機能」を導入予定。	2事業	百万円以上
275	小児救急医療拠点病院の整備	病院	1	17	1	1	2	22	現在、唯一の小児救急医療拠点病院である徳島赤十字病院のほか、県内にもう1箇所の整備を目指しているが、平成19年度においては整備に至っていない。	1事業	一千万円以上
276	小児救急電話相談事業の実施	日	-	17	-	実施	365	22	平成19年6月に相談事業を開始し、現在運用中である。	1事業	百万円以上

印は20年度版で上方修正

(19年度実績値は、平成20年3月31日時点)

番号	指 標 名	単位	現況値	年度	<参考> 実績値 (18年度)	実績値 (19年度)	目標値	年度	進 捗 状 況 の 説 明	政策評価対象 関連事業	
										事業数	H20事業費
277	周産期死亡率（出産千人当たり）	人	5.7	17	4.1	-	4.8	22	徳島大学病院の「総合周産期母子医療センター」を中心に、引き続き、「周産期医療システム」の体制整備を進めた。（平成19年実績は平成20年10月頃に公表される予定）	1事業	百万円以上
278	院内における医療事故等分析体制を整備している病院数	%	39.0	17	39.0	52	100.0	22	県内すべての病院120箇所に立入検査を実施し、医療事故等分析体制の現状を確認するとともに、未整備病院については整備の促進を行っている。		
279	自治医科大学の単年度入学者	人	2	17	3	2	3人確保	22	早期に3人入学が確保できるよう、多くの優秀な受験生の確保に努めるとともに関係先への要望活動等に取り組んだところであり、今後も一層の推進を図る。		
280	徳島県と徳島大学による地域医療の共同研究の創設		-	17	-	創設	創設	19	平成19年10月から共同研究を実施している。	1事業	一千万円以上
281	薬事監視率	%	23	17	28	27	32	22	平成19年度は前年度に比べやや伸び悩んだものの、計画的な監視の実施により、目標達成に向け、順調に推移している。	1事業	百万円以上
282	400ml献血率（全血献血）	%	71	17	82	95	84	22	400ml献血の推進を図るため、徳島県赤十字血液センターと連携し、普及啓発を行った結果、着実にその効果を上げている。	2事業	百万円以上
283	「くらしのサポーター」のうち、月1回程度は活動する者の人数	人	-	17	34	46	150	22	「くらしのサポーター」の活動発表会、研修会を実施し、ネットワーク構築を推進している。	1事業	百万円以上
<b>4 - 6 みんなでつくろう！健康とくしまづくり</b>											
284	糖尿病の標準化死亡比		全国最下位	17	男性最下位 女性46位	-	全国最下位 からの脱出	19 ~ 22	健康とくしま応援団や阿波踊り体操、ヘルシー阿波レシビの普及啓発などの「健康とくしま運動」の全県展開を推進してきたものの、男性は全国最下位、女性は46位。（H19年実績はH21年4月頃に判明予定） 粗死亡率は 全国42位（概数、確定数はH20年10月頃に判明予定）	2事業	百万円以上
285	3大疾病による壮年期死亡率（壮年期人口10万人当たり人数）		179.5	17	190.9	-	163.9	22	近年は減少傾向にあったが、「心疾患、脳卒中」は減少しているものの「がん」の増加により、前年より増加。（平成19年実績は平成20年10月頃判明）		
286	健康とくしま応援団への加入数（累計）	事業所	27	17	297	544	400	22	保健所を中心に普及啓発に取り組んだ結果、目標を超えて順調に増加。H20.3.31現在。	1事業	百万円以上
287	「阿波踊り体操」の普及事業所数（累計）	事業所	-	17	111	212	300	22	順調に増加。H20.3.31現在。H19.4.1～健康とくしま応援団にDVD配付事業所 101か所。	1事業	百万円以上

印は20年度版で上方修正

(19年度実績値は、平成20年3月31日時点)

番号	指 標 名	単位	現況値	年度	<参考> 実績値 (18年度)	実績値 (19年度)	目標値	年度	進捗状況の説明	政策評価対象 関連事業	
										事業数	H20事業費
288	介護予防リーダーの養成者数(累計)【再掲】	人	-	17	0	109	400	22	県内3カ所で介護予防リーダー養成研修を開催し、介護予防リーダーを109名養成した。	1事業	百万円以上
289	3歳児の一人平均う歯数	本	1.4	17	1.4	-	1.2本以下	22	フッ化物塗布推進などにより乳幼児のう歯予防に取り組んだ。(19年度実績は20年夏頃に判明)	1事業	百万円以上
290	医療機関内におけるSARSによる二次感染者数	人	0	17	0	0	ゼロに抑える	19~22	医療機関内におけるSARSによる二次感染者は発生していない。		
291	抗インフルエンザウイルス薬「タミフル」の備蓄	人分	-	17	34,000	68,000	68,000	19	34000人分を追加備蓄し、目標値の68000人分を備蓄済み。		

#### 4 - 7 とくしま体感治安向上プロジェクトの推進

292	地域自主防犯活動団体の活動地域数	地区	60	17	92	107	180地区(全地域)	22	推進大会の開催及びリーダー研修の実施により、活動地域数の増加に努めている。	1事業	百万円未満
293	刑法犯認知件数	件	9,655	17	9,111	8,518	17年対比で抑止(減少)	22	街頭犯罪及び侵入犯罪抑止総合対策等の取組みを実施した結果、17年対比で11.8%減少した。(数値は暦年)	1事業	百万円以上
294	交通事故による死者数	人	68	17	63	58	50人台前半以下	22	目標達成には至らなかったが、道路交通法が施行された昭和35年以降最も少なかった平成16年と同数。(現況・実績・目標値とも暦年)	1事業	一千万円以上
295	自主防犯活動用自動車台数	台	15	17	126	245	200	22	目標を達成。更なる拡充に向けた支援を継続。(現況・実績・目標値とも暦年累計)		(ゼロ予算事業)
296	街頭犯罪発生件数	件	3,366	17	3,408	2,943	17年対比で抑止(減少)	22	犯罪分析に基づく街頭犯罪及び侵入犯罪抑止総合対策を実施した結果、17年対比で12.6%減少した。(数値は暦年)	1事業	百万円以上
297	侵入窃盗の発生件数	件	772	17	574	465	17年対比で抑止(減少)	22	犯罪分析に基づく街頭犯罪及び侵入犯罪抑止総合対策を実施した結果、17年対比で39.8%減少した。(数値は暦年)	1事業	百万円以上
298	県内中高生の薬物事犯検挙者数	人	0	17	0	0	0	22	平成19年度徳島県薬物乱用対策事業推進方針を策定し、関係機関及び団体と連携して取締りや啓発活動に取り組み、県民の意識向上を図った。(設定数値は、暦年)	1事業	百万円以上
299	犯罪被害者支援連絡協議会の開催回数	回	6	17	5	13	15回(各警察署及び県全体会議)	22	各警察署及び県全体会議を計画的に開催し、平成19年度は13回実施した。	1事業	百万円未満
300	シートベルト着用率	%	88.8	17	93.8	94.0	95%以上	22	平成19年中の着用率は94.0%で、17年対比で5.2ポイント上回っている。	2事業	一千万円以上
301	「飲酒運転撲滅月間(12月)」の創設				-	創設	創設	19	平成19年12月に「飲酒運転撲滅月間」を創設し、県民総ぐるみによる飲酒運転撲滅運動を展開した。		

番号	指 標 名	単位	現況値	年度	<参考> 実績値 (18年度)	実績値 (19年度)	目標値	年度	進捗状況の説明	政策評価対象 関連事業	
										事業数	H20事業費
302	撲滅宣言協力店数	店	-	17	4,587	5,057	5,000	20	酒類を取り扱うスーパー、コンビニ等に協力を求め、目標値を達成した。		
303	車両用LED式信号灯器の割合【再掲】	%	17	17	22	27	35	22	約400灯を計画的に整備した。	1事業	一億円以上
304	幅3m以上の歩道を必要とする県管理道路における歩道設置率【再掲】	%	62	17	65	70	73	22	補助及び県単独事業において、順調に進捗中。	3事業	一億円以上

**基本目標5 「まなびや、とくしま」の実現**

**5 - 1 「まなびや、とくしま体制づくり**

305	本県教育の指針となる新たな計画				未策定	策定中	策定	20	徳島県教育振興計画の策定について、徳島県振興審議会に諮問し、計画の素案等についての検討がなされた。	1事業	百万円以上
306	次世代育成行動計画の策定・推進(前期計画)		策定	16	推進	推進	推進	21	「徳島はぐくみプラン」に基づき、プラン関連事業をはじめとする少子化対策を推進している。	1事業	百万円以上
307	次世代育成行動計画の策定・推進(後期計画)		検討	20	-	-	策定	21	平成22年度からの後期計画を平成20年度に検討し、21年度に策定する。	1事業	百万円以上

**5 - 2 未来に「はばたく力」育むとくしま教育づくり**

308	少人数学級(35人を上限とする学級編制)の拡大		小学校1・2年に導入	17	小学校1・2年に導入	小学校1・2年に導入	中学校1年に新規導入	20	全ての小学校1・2年で引き続き実施した。 小学校1年生 15校15学級 小学校2年生 17校17学級		
309	スクールカウンセラーの全公立小・中学校への配置	校	193	17	228	全校配置	全校配置	19	いじめ・不登校など児童生徒の多様な悩みに対応するため、スクールカウンセラーを全公立小・中学校に配置した。	1事業	一千万円以上
310	学力向上に関するHPを開設している学校の割合	%	9.9	17	38.6	54.7	100	22	特別支援学校は100%を達成し、小・中・高校においても平成18年度から増加している。平成20年度において取組をさらに推進する。		
311	幼児・児童生徒及び教職員の読書冊数(累計)	冊			5,566,023	11,903,969	1,000万冊	18~20	県内公立幼稚園、小・中・高・特別支援学校の幼児・児童生徒及び教職員が参加し、取組2年目にして目標を達成した。		
312	一定規模以上の学級を有するすべての小・中学校に少人数指導のための追加教員を配置		-	-	25人以上の学級で継続実施	25人以上の学級で継続実施	25人以上の学級で継続実施	19~22	25人以上の学級で引き続き実施した。 小学校 116校181名を配置 中学校 71校120名を配置		
313	スクールソーシャルワーカー数	人	-	17	0	4	3	22	4人のスクールソーシャルワーカーを派遣できる体制を整備した。	1事業	百万円以上

印は20年度版で上方修正

(19年度実績値は、平成20年3月31日時点)

番号	指 標 名	単位	現況値		<参考> 実績値 (18年度)	実績値 (19年度)	目標値		進捗状況の説明	政策評価対象 関連事業	
			年度	年度			年度	年度		事業数	H20事業費
314	栄養教諭の配置市町村数【再掲】	市町村	-	17	8	16	全市町村	20	H18から計画的に配置を進めている。 栄養教諭の配置 8市町 16市町		
315	「中高一貫教育」の全県展開	校	2	18	2	2	3	22	県南部地域に中高一貫教育校を設置するための検討を行い、併設型中高一貫教育を平成22年度に富岡東高校に導入することを決定した。	1事業	百万円未満
316	「オンリーワンハイスクールパワーアップ事業」実施校（累計）	校	-	17	未実施	16	30	21	16校が実施校として事業に取り組み、11月にはフェアを、年度末にはオンリーワンコンテストを実施した。	1事業	一千万円以上
317	ICTを活用した授業実践の研修参加者数（累計）	人			136	247	800	19 ~ 22	ICTを活用した授業実践についての教員研修（14講座）を実施した。	1事業	百万円未満
318	高校再編の計画策定	地域	-	17	0	2	7	19	地域の知恵を活かしながら、県下7地域で高校再編を進めた。再編の計画については、2地域で策定済、3地域で策定に向け取り組んでいる。残り2地域では地域の実情を踏まえた協議を進めており、取りまとめに時間を要している。	1事業	百万円以上
319	徳島科学技術高校の設置				-	準備	開校	21	平成21年4月、開校予定の「徳島科学技術高校」の校舎改築に着手するなど、開校準備を進めた。	1事業	一億円以上
320	巡回、通級による指導、ボランティアによる支援等	校	未実施	17	未実施	5	全県で推進	22	「巡回、通級による指導」実施校5校 「ボランティアによる支援」実施校4校	1事業	百万円以上
321	「個別の指導計画」を作成している小・中学校の割合	%	27	17	30	59	100	22	特別支援教育コーディネーターを中心に各校において「個別の指導計画」の作成を推進した。	1事業	百万円以上
322	高等養護学校の整備				未整備	-	着工	22	平成22年度の着工に向け、平成19年度は「高等養護学校基本計画」を策定した。	1事業	一千万円以上
<b>5 - 3 地域とともに歩む学校づくり</b>											
323	「コミュニティ・スクール」モデル校数（累計）	校	-	17	0	2	10	22	美波町立伊座利小学校及び由岐中学校伊座利分校を本県のモデルケースとして、その取組及び実践の成果を広く周知し、「コミュニティ・スクール」設置の可能性のある市町村教育委員会との協議を進めた。		
324	学校評価結果（前年度分）の公表率（小・中・高校）	%	43	17	43	55	80	22	自己評価の実施と結果の公表が、早期に全ての学校で行われるよう機会を捉えて働きかけた。平成19年度に法が改正され、平成20年度からは、全ての学校において学校評価の公表が義務づけられている。	1事業	百万円以上
325	「放課後子ども教室」実施数	教室	-	17	-	39	60	22	県内5市3町において39カ所で実施した。	1事業	一千万円以上

印は20年度版で上方修正

(19年度実績値は、平成20年3月31日時点)

番号	指 標 名	単位	現況値	年度	<参考> 実績値 (18年度)	実績値 (19年度)	目標値	年度	進 捗 状 況 の 説 明	政策評価対象 関連事業	
										事業数	H20事業費
										326	県立高等学校施設耐震化率【再掲】
327	防災教育推進モデル校の指定(累計)	校	6	17	12	18	24	22	ゾーン別にモデル校を指定し、防災教育の充実に取り組んだ。	1事業	百万円以上
328	学校安全ボランティア(スクールガード)活動の実施				全小学校区 で実施	全小学校区 で継続実施	全小学校区 で継続実施	19 ~ 22	全小学校区で引き続き実施した。	1事業	一千万円以上

### 5 - 4 学び立県とくしまづくり

329	「徳島県立総合大学校」の創設				-	検討	開校	20	徳島県立総合大学校基本構想策定委員会を設置し、基本構想を策定した。	1事業	一千万円以上
330	「とくしまネットワーク図書館」の構築		-	17	-	検討	構築	22	ネットワーク図書館を構築するため、ICT技術活用等について情報を収集するとともに、基本計画の検討を行った。		
331	生涯学習情報システムへのアクセス件数	件	93,384	17	191,463	519,806	200,000	22	県内の生涯学習関連施設との連携により収集した生涯学習情報をデータベース化し、インターネットにより提供した。	1事業	百万円未満
332	「オンリーワンとくしま県民カレッジ」入学者数	人	7,230	17	7,720	8,204	8,000	22	「オンリーワンとくしま県民カレッジ」による各種講座の総合的、体系的な提供により、生涯学習の環境づくりに努めた。平成20年度県立総合大学校に統合された。		
333	読書活動を推進するイベントへの参加者数(累計)	人	803	17	1,209	2,156	2,000	22	県事業のほか、文部科学省委託事業や、ボランティアによる「おはなし会」を実施した。	1事業	百万円未満
334	地域教育力再生コーディネータ養成講座受講者数(累計)	人	-	17	82	123	282	22	「子どもの学びの場づくりコーディネーター研修」コースを設置し、6日間の実践的な講座を開催した。	1事業	百万円未満
335	教育・産業連携キャリアアップ実践校数(延べ数)	校	-	17	4	7	9	20	平成19年度は県立高校3校を指定校として事業を実施し、高校生の望ましい勤労観・職業観、進路選択能力の育成に努めた。	1事業	百万円未満

### 5 - 5 未来を拓く青少年づくり

336	「青少年センター」の整備・充実		検討	17	検討	検討	運用	22	PFI事業により青少年センターの再編整備を行うため、事業者の選定を行った。	1事業	百万円未満
337	指導者養成講座参加者数(累計)	人	80	17	172	217	400	22	青少年のグループ活動に対する理論・技術の習得を図り、青少年リーダーの育成を促進した。	1事業	百万円以上

印は20年度版で上方修正

(19年度実績値は、平成20年3月31日時点)

番号	指 標 名	単位	現況値	年度	<参考> 実績値 (18年度)	実績値 (19年度)	目標値	年度	進捗状況の説明	政策評価対象 関連事業	
										事業数	H20事業費
										338	青少年非行防止メッセージ事業参加者数 (累計)
339	「防ごう！少年非行」県民総ぐるみ運動参加者数(累計)	人	700	17	1,400	2,100	3,400	22	街頭啓発や大会の開催により、青少年の非行防止・健全育成について、社会の気運を醸成した。	1事業	百万円以上
340	少年の日事業参加者数(累計)	人	1,170	17	2,415	4,697	4,000	22	異年齢の集団活動などを通じて、青少年の自立心と社会性の育成を図った。	1事業	百万円以上
341	徳島県若年者就職サポートセンターを活用した就職件数(累計)【再掲】	人	829	17	1,396	1,929	3,000	22	ハローワークの出先窓口である徳島学生職業情報センターを併設し、職業相談から職業紹介までの雇用関連サービスを1箇所提供していることから、就職件数は順調に推移している。	1事業	百万円以上
342	徳島県若者サポートステーションにおける相談件数(累計)【再掲】	件	-	17	411	1,242	1,000	19	キャリアコンサルタントなど専門家によるきめ細やかな相談を実施していることから、相談件数は順調に推移している。	1事業	百万円以上

### 5 - 6 子どもを育てるなら “とくしま” づくり

343	「出逢いきらめきセンター」会員団体登録数	団体	-	17	-	58	50	22	平成19年度11月にセンター開設後、会員団体が58団体となり、目標値を達成した。	1事業	百万円以上
344	ファミリー・サポート・センター事業実施市町村数	市町村	7	17	8	8	15	22	未設置市町村に対する働きかけと、周知啓発に取り組んでいる。	1事業	百万円未満
345	次世代育成行動計画の策定・推進(前期計画)【再掲】		策定	16	推進	推進	推進	21	「徳島はぐくみプラン」に基づき、プラン関連事業をはじめとする少子化対策を推進している。	1事業	百万円以上
346	次世代育成行動計画の策定・推進(後期計画)【再掲】		検討	20	-	-	策定	21	平成22年度からの後期計画を平成20年度に検討し、21年度に策定する。	1事業	百万円以上
347	児童福祉業務に携わる人材育成研修会受講者数	人	3,200	17	3,000	3,400	毎年 2,000人	19 ~ 22	平成19年度は、予定を上回る約3,400人が受講するなど、受講者数は、順調に推移している。	3事業	百万円以上
348	子育て総合支援センターにおける支援対象団体数	団体	318	17	329	336	360	22	子育て総合支援センターにおいて、専門研修の実施やネットワーク会議での連携促進により、子育て支援関係組織の連携強化が図られている。	1事業	百万円以上
349	「市町村要保護児童対策地域協議会」設置率	%	50	17	66	83	100	22	設置率は概ね順調に推移しており、本年度は4市町で設置された。引き続き、未設置町村に対して設置を促進する。	1事業	百万円未満
350	里親登録数	人	39	17	46	47	60	22	平成19年度は5人登録された。引き続き、里親制度の周知等により、登録数の増加を図る。	1事業	百万円以上
351	「一時・特定保育事業」実施市町村数	市町村	15	17	16	16	全市町村	22	全市町村での実施にむけ、今後も引き続き、未実施市町村に対し事業実施の推進に努める。		

印は20年度版で上方修正

(19年度実績値は、平成20年3月31日時点)

番号	指 標 名	単位	現況値		<参考> 実績値 (18年度)	実績値 (19年度)	目標値		進捗状況の説明	政策評価対象 関連事業	
			年度	年度			年度	年度		事業数	H20事業費
352	地域子育て支援センター等の設置数	箇所	74	17	80	70	100	22	平成19年度は、国庫補助事業の制度改正により、実施箇所数が減少した。今後も市町村に対して設置を促進する。		
353	放課後児童クラブの設置数	クラブ	102	17	111	121	139	22	未実施地域における新たな放課後児童クラブの設置等が促進されている。	1事業	一億円以上
354	不妊治療費助成限度額の拡大		年間10万円	17	年間10万円	年間20万円	年間20万円	19	平成19年度から年間20万円に拡大、目標を達成した。		
355	不妊治療費助成件数(累計)	件	243	17	404	707	850	22	目標値に向け順調に推移している。		
356	全国トップクラスとなる乳幼児等医療費助成制度		7歳未満児	18	7歳未満児	堅持	堅持	22	全国トップクラスの制度を継続中		
357	「阿波っ子すくすくはぐくみ資金」新規貸付件数(累計)	件	-	17	128	275	500	22	広報に取り組んだことにより、順調に増加している。	1事業	一億円以上
358	「Go!Go!くっつき隊応援し隊」協賛店舗等数【再掲】	事業所	-	17	431	486	800	22	地域の企業や事業所の応援による子育て支援の取組について、486事業所が協賛。「関西子育て世帯応援事業」との広域連携の開始等も始めたため、さらに協賛店舗の増加を図る。	1事業	百万円以上
359	一般事業主行動計画策定・届出件数(300人以下の事業所)【再掲】	事業所	22	17	44	79	150	22	周知啓発等に取り組んだことにより、順調に推移している。	1事業	百万円以上
360	「はぐくみ支援企業」認証件数(累計)【再掲】	事業所	-	17	-	25	100	22	広報に取り組んだことにより、順調に推移している。	1事業	百万円以上
361	「はぐくみ支援企業」表彰件数(累計)【再掲】	事業所	-	17	10	23	80	22	広報に取り組んだことにより、順調に推移している。	1事業	百万円以上

### 5 - 7 食育先進県とくしまづくり

362	栄養教諭の配置市町村数	市町村	-	17	8	16	全市町村	20	H18から計画的に配置を進めている。栄養教諭の配置 8市町 16市町		
363	「コンビニエンスストア」食育推進協力店数	店	-	17	0	0	100	22	効果的な連携方策について、コンビニエンスストアとの協議を重ねて検討をすすめている。	1事業	百万円以上
364	「食育推進計画」作成実施市町村数	市町村	-	17	0	1	全市町村	22	さまざまな機会を捉え、市町村における食育推進体制の整備や計画策定を推進している。	2事業	百万円以上
365	食育推進ボランティア数	人	1,251	17	1,184	1,343	1,500	22	各団体等へボランティア登録に向けての推進を行い、ボランティア数は増加している。	1事業	百万円以上
366	地産地消協力店数	店	120	17	136	188	150	22	飲食店や量販店への登録がすすみ、協力店は順調に増加している。	1事業	百万円以上
367	学校給食における地産地消推進市町村数	市町村	6	17	9	18	全市町村	22	学校給食における地場産物の活用が推進され、給食の一層の充実が図られた。	1事業	百万円以上

印は20年度版で上方修正

(19年度実績値は、平成20年3月31日時点)

番号	指 標 名	単位	現況値	年度	<参考> 実績値 (18年度)	実績値 (19年度)	目標値	年度	進 捗 状 況 の 説 明	政策評価対象 関連事業	
										事業数	H20事業費
368	食農教育に取り組む市町村数	市町村	9	17	11	11	全市町村	22	これまでに実践したモデル校以外でも取り組みが進んでいる。	2事業	百万円以上

## 基本目標6 「“みんなが、とくしま”の実現

### 6 - 1 “みんなが、とくしま”体制づくり

369	とくしま国際フレンドシップ憲章の制定				-	制定	制定	19	徳島県国際フレンドシップ憲章（仮称）制定委員会を設置し、検討を進め、平成20年3月に制定。		
-----	--------------------	--	--	--	---	----	----	----	---	--	--

### 6 - 2 男女共同参画立県とくしまづくり

370	県審議会等に占める女性の割合	%	25	15	40.3	41.4	50	22	「男女共同参画基本計画」の目標である40%は達成しており、引き続き全庁を挙げて女性の登用に取り組む。		
371	「はぐくみ支援企業」認証件数（累計）	事業所	-	17	-	25	100	22	広報に取り組んだことにより、順調に推移している。	1事業	百万円以上
372	「男女共同参画交流センター」利用者数（累計）	人	-	17	14,000	55,600	200,000	22	目標である年間5万人を達成するため、講座をはじめ多様な事業を展開している。実績値はH18年度からの累計による。	2事業	百万円以上
373	女性役付職員数	人	96	15	129	145	195	22	管理職や重要課題を担当するポストへの登用を行い、女性職員の能力の一層の活用に努めている。（女性役付職員数 150名）		
374	「フレアとくしま100講座」参加者数（累計）	人	-	17	(1,398)	5,300	10,000	22	目標である年間2,500人を大きく上回る参加者数が見込まれる。	1事業	百万円以上
375	家族経営協定締結数	戸	587	17	662	816	750	22	農業支援センターを中心に締結に向けた支援を行い、目標を達成した。農業経営に意欲的に取り組むようになった女性農業者が出てきている。	1事業	百万円以上
376	「フレアとくしま100講座」開催数（累計）	件	-	17	(29)	125	400	22	目標である年間100講座を上回る講座を実施する予定である。	1事業	百万円以上
377	「Go!Go!くつき隊応援し隊」協賛店舗等数	事業所	-	17	431	486	800	22	地域の企業や事業所の応援による子育て支援の取組について、486事業所が協賛。「関西子育て世帯応援事業」との広域連携の開始等も始めたため、さらに協賛店舗の増加を図る。	1事業	百万円以上
378	一般事業主行動計画策定・届出件数(300人以下の事業所)	事業所	22	17	44	79	150	22	周知啓発等に取り組んだことにより、順調に推移している。	1事業	百万円以上
379	「はぐくみ支援企業」表彰件数（累計）	事業所	-	17	10	23	80	22	広報に取り組んだことにより、順調に推移している。	1事業	百万円以上

### 6 - 3 高齢者いきいき「生涯現役」とくしまづくり

印は20年度版で上方修正

(19年度実績値は、平成20年3月31日時点)

番号	指 標 名	単位	現況値		<参考> 実績値 (18年度)	実績値 (19年度)	目標値		進 捗 状 況 の 説 明	政策評価対象 関連事業	
			年度	年度			年度	年度		事業数	H20事業費
380	シルバー人材バンク(生きがいづくり推進員)の登録者数(累計)	人	90	17	184	362	500	22	シルバー大学校、大学院開講事業の取り組みにより、順調に登録者数が増加している。	1事業	百万円未満
381	「シルバー大学院」ICT講座入学者数	人	25	17	50	50	75	21	19年度は、18年度と同数であるが、20年度においては、南部地域校において、入学者10名を増員。	1事業	百万円以上
382	シルバー大学院における資格取得者数(累計)	人	66	17	132	267	300	22	シルバー大学校、大学院の開講事業の取り組みにより、順調に資格取得者数が増加している。	1事業	一千万円以上
383	シルバー大学院のサテライト講座の開設		-	17	-	開設	開設	19	南部、西部地域でサテライト講座(四国観光検定講座)を開催。(10月11日(美馬市)、10月12日(阿南市))	1事業	百万円未満
384	県健康福祉祭に参加しているスポーツ及び文化交流競技団体に登録している高齢者数	人	7,000	17	7,613	8,016	9,000	22	徳島県健康福祉祭の競技団体種目を増やすことにより、高齢者のスポーツ及び文化交流競技の活性化を図りながら、登録者数の増加に努めた。	1事業	一千万円以上
385	「シルバー人材センター」の就労延日人員数	万人	49	17	53	54	57	22	シルバー人材センターの適正な運営補助等の取り組みにより、順調に就労延日人員数は増加している。	1事業	一千万円以上
386	徳島県就労支援プラザを活用した就職件数(累計)【再掲】	人	102	17	139	156	280	22	中高年齢者に対する求人情報の提供やきめ細やかな職業相談等を実施しているが、中高年齢者の雇用情勢が厳しいこともあり、目標達成は厳しい状況となっているため、今後、より一層のきめ細やかな職業相談等により就職件数の増加に努めることとしている。	2事業	一千万円以上
387	介護支援専門員の養成者数(累計)	人	3,987	17	4,208	4,473	5,000	22	介護支援専門員実務研修等の実施により、順調に養成者数が増加している。	1事業	百万円以上
388	介護サービス従事者の研修参加者	人/年	-	17	3,196	3,750	2,000	19 ~ 22	介護サービスの質の向上を図るため、介護支援専門員の研修他様々な研修に取り組んでいることにより、年間目標である2千人を超える参加者数が見込まれる。	3事業	一千万円以上
389	高齢者等住宅改修等給付(助成)件数	件	-	17	2,636	2,675	12,000	19 ~ 22	市町村と連携しながら、制度の周知広報に努めている。	1事業	百万円以上

#### 6 - 4 障害者「自立と社会参加」のつくしまづくり

390	障害児自立支援に向けた利用者負担の軽減		負担軽減	18	負担軽減	負担軽減	負担軽減	20	県独自の障害児施設を利用する保護者の負担軽減策を実施している。	1事業	百万円以上
391	障害者施設利用者の工賃(月額)	円	14,000	17	15,000	16,132	21,000	22	授産製品の販路拡大等に努め、工賃アップに向けた取り組みを強化している。	1事業	百万円以上

印は20年度版で上方修正

(19年度実績値は、平成20年3月31日時点)

番号	指 標 名	単位	現況値		<参考> 実績値 (18年度)	実績値 (19年度)	目標値		進 捗 状 況 の 説 明	政策評価対象 関連事業	
			年度	年度			年度	年度		事業数	H20事業費
392	指定サービス提供事業所の指定件数	事業所	-	17	402	508	550	22	障害者自立支援法の周知により、指定件数は、順調に伸びている。引き続き制度の周知に努める。	1事業	一億円以上
393	サービス管理責任者研修の受講者数 (累計)	人	-	17	107	222	470	22	障害者相談支援センターで実施。障害者自立支援法の周知により、受講者数は順調に養成できている。	1事業	百万円以上
394	相談支援従事者研修の受講者数(累計)	人	676	17	960	1,109	1,500	22	障害者相談支援センターで実施。障害者自立支援法の周知により、受講者は順調に養成できている。	1事業	百万円以上
395	補助犬の登録頭数(累計)	頭	9	17	10	11	14	22	NPO法人ボランティアドッグ育成センター及び(財)徳島の盲導犬を育てる会等と連携し実施。順調に育成できている。	1事業	百万円以上
396	「障害者交流プラザ」の利用者数(累計)	人	-	17	100,642	207,206	500,000	22	障害の有無に関わらず、利用者は順調に伸びている。引き続き指定管理者と連携し周知に努めていく。		
397	「ふれあい徳島号(リフト付きバス)」の利用者数	人	-	17	963	1,957	8,000	19 ~ 22	障害者団体等の各種イベントの移動手段として活用いただいており、利用者は順調に伸びている。	1事業	百万円以上
398	指定相談支援事業所の指定件数	事業所	-	17	42	43	50	22	相談事業の実施主体である市町村とも連携し、周知・指導に努めていく。	2事業	百万円以上
399	障害児に対する療育相談件数	件	1,789	17	1,608	1,709	2,500	22	県の実施する地域生活支援事業の一環であり、今後も制度の周知に努めていく。	1事業	一千万円以上
400	地域共同作業所の指定事業者への移行件数 (累計)	件	-	17	3	4	30	22	経営基盤強化を図るため、新体系への移行促進に向けて、指導に努めていく。	2事業	一千万円以上
401	「障害者雇用促進憲章(又は条例)」の制定 【再掲】				-	制定	制定 (憲章)	19	平成19年12月に「とくしま障害者雇用促進憲章」を制定し、目標を達成した。		
402	民間企業の障害者雇用率【再掲】	%	1.41		1.33	1.49	法定雇用率 以上	22	19年度実績(平成19年6月1日現在)は法定雇用率1.80%を下回っているものの、前年度より0.16ポイント上昇した。	3事業	一千万円以上
403	高次脳機能障害者への支援ネットワークの構築		-	17	-	推進	構築	22	徳島大学等との連携・協力の基に、専門相談窓口の開設や専門研修会を開催し、高次脳機能障害者支援ネットワーク構築の理解が深まった。また、患者家族会が結成され発足式が行われた。	1事業	百万円未満

番号	指 標 名	単位	現況値	年度	<参考> 実績値 (18年度)	実績値 (19年度)	目標値	年度	進捗状況の説明	政策評価対象 関連事業	
										事業数	H20事業費
										404	「発達障害者支援センター」の相談件数 (累計)
<b>6 - 5 共助・共生のまちづくり</b>											
405	介護予防リーダーの養成者数(累計)	人	-	17	0	109	400	22	県内3カ所で介護予防リーダー養成研修を開催し、介護予防リーダーを109名養成した。	1事業	百万円以上
406	障害者スポーツ指導員の派遣件数	件	-	17	-	56	200	22	ゼロ予算事業を活用し、(財)とくしまノーマライゼーション促進協会に人材バンクを設置し、利用促進に努めている。	1事業	百万円以上
407	「ひとり暮らし高齢者等支援ネットワーク」の設置率	%	-	17	29	50	100	22	地域包括支援センターへの指導、研修を通じて、ネットワーク支援に取り組んでいる。		
408	認知症サポーター数(累計)	人	-	17	2,179	4,832	5,000	22	県が養成したキャラバンメイトを中心として、各地域で認知症サポーター養成講座が開催され、順調に認知症サポーターが養成されている。		
409	県登録手話通訳者数	人	46	17	53	50	75	22	全国統一試験実施の結果、短期登録者は減少したものの、永年登録者数は増加している(27人 29人)。手話通訳養成講座を実施しており周知に努めていく。	1事業	百万円以上
410	「動物愛護推進員」委嘱数	人	-	17	-	0	50	22	20年7月に動物愛護推進員設置要綱を定め5名程度の推進員を委嘱予定		
<b>6 - 6 ユニバーサルデザインとくしまづくり</b>											
411	ユニバーサルデザイン表彰数(累計)	件	-	17	-	7	30	22	「とくしまユニバーサルデザインによるまちづくり賞」として、「街づくり」「ものづくり」「意識づくり」の3部門で表彰を実施。	1事業	百万円以上
412	ノンステップバス(路線バス)の台数	台	43	17	51	58	69	22	今年度7台のノンステップバスの導入が見込まれており、想定を上回るペースで導入が進んでいる。	2事業	一千万円以上
413	ユニバーサルデザイン化着手都市公園数	公園	-	17	1	2	6	22	昨年度の鳴門・大塚スポーツパークにつづき、今年度は蔵本公園でUD化に新規着手。	1事業	百万円以上
414	対向車接近表示システム等設置箇所数	箇所	-	17	11	16	20	22	国道193号那賀町沢谷を含む5箇所の対向車接近表示システムを整備。	1事業	百万円以上
415	電線類を地中化した県管理道路の延長【再掲】	km	7.0	17	8.0	8.5	8.5	22	今年度、常三島中島田線(徳島鴨島線)、元町沖洲線において整備が完了し、目標8.5kmを達成。	1事業	一千万円以上

印は20年度版で上方修正

(19年度実績値は、平成20年3月31日時点)

番号	指 標 名	単位	現況値	年度	<参考> 実績値 (18年度)	実績値 (19年度)	目標値	年度	進 捗 状 況 の 説 明	政策評価対象 関連事業	
										事業数	H20事業費
										416	幅3m以上の歩道を必要とする県管理道路における歩道設置率
417	県管理の特定道路のバリアフリー化率	%	15	17	15	15	100	22	徳島駅前ほどうづくり協議会を開催。	1事業	一千万円以上
418	相談、情報提供等の生活支援サービスを受けた外国人数	人	2,573	17	2,575	3,293	4,000	22	外国人からの相談対応や多言語による情報提供などを実施した。	2事業	百万円以上
419	外国人支援ボランティア養成講座の参加者等	人	196	17	236	196	300	22	日本語指導ボランティア養成講座等を開催した。	2事業	百万円以上

## 6 - 7 活力みなぎるとくしまづくり

420	「移住交流支援センター」の設置地域数	地域	-	17	-	6	10	22	20年3月までに、美馬市・三好市・那賀町・美波町・神山町・勝浦町において設置済みである。	2事業	一千万円以上
421	「とくしまアグリテクススクール」受講者数	人	173	17	391	419	500	22	新たに「団塊の世代コース」を設けるなど、講座の充実を図った。	1事業	百万円以上
422	「地域めぐりシステム」設置箇所数	箇所	-	17	-	7	7	22	整備予定である7か所すべてに整備できた。	1事業	百万円以上
423	県外シニア世代対象の「徳島学」夏期講座の開催				-	検討	開催	20	大学や旅行会社とともに協議し、「徳島学」夏期講座の開催に向けて企画等を検討した。		
424	ボランティア・アドプト登録人口【再掲】	人	135,238	17	136,081	139,289	140,000	22	社会貢献活動への参加形態の多様性により伸び幅は大きくないものの、着実に増加している。	3事業	一千万円以上
425	構造改革特区・県版特区・地域再生計画数(累計)	件	22	17	23	25	30	22	19年度は地域再生計画が新たに2件認定された		
426	「中山間地域等直接支払制度」に取り組んだ集落協定数	協定	639	17	652	656	670	21	市町村を対象とした事業説明会等を実施し、目標をほぼ達成した。	1事業	一億円以上
427	農地や農業用水などを保全するため共同活動に取り組んだ活動組織数	組織	-	17	0	104	100	22	活動組織や関係者等を対象に事業説明会等を実施し、目標を達成した。	1事業	一千万円以上
428	生産基盤と生活環境が一体的に整備された地区数(累計)	地区	87	17	90	93	95	22	平成19年度は、椿東部・椿西部・山城の3地区において整備が完了した。	2事業	一億円以上
429	公募型メニューにより事業に取り組んだ実施主体(累計)	件	-	17	35	74	80	22	計画を審査し、地域振興の見込まれる事業に対し補助を行った。	1事業	一千万円以上

番号	指 標 名	単位	現況値		<参考> 実績値 (18年度)	実績値 (19年度)	目標値		進捗状況の説明	政策評価対象 関連事業	
			年度	年度			年度	年度		事業数	H20事業費
430	地域創造モデル事業交付金制度				-	創設・運用	創設	19	19年7月に「徳島県地域創造モデル事業交付金交付要綱」を制定し、運用を開始している。		

**基本目標7「“にぎわい”とくしま」の実現**

**7-1 “にぎわい”とくしま体制づくり**

431	「道の駅」新規選定箇所数	箇所	-	17	0	1	10	22	主要地方道徳島上那賀線 勝浦町では検討委員会を開催。	1事業	一千万円以上
432	「とくしまスポーツ憲章」の制定				-	制定	制定	19	「とくしまスポーツ王国づくり」の実現を目指して「とくしまスポーツ憲章」を制定した。		
433	徳島小松島港本港地区におけるボードデッキ等の整備		整備中	17	整備中	整備中	一部供用	22	これまでに、地域住民のアイデアを活かした計画を策定。今年度は、ボードデッキ等の整備を推進。	1事業	一千万円以上
434	徳島東部都市計画区域の都市計画見直し		-	17	基礎調査	基礎調査	見直し	22	都市計画見直しの基礎となる調査を実施中。		
435	新町西地区市街地再開発事業の進捗率	%	-	17	-	-	40	22	都市計画決定に向けて公聴会等を実施。		
436	観光入り込み客数	万人	1,245	17	1,297	-	1,500	22	とくしまの観光ブランドを効果的に発信することで観光誘客促進に一層取り組んだ。19年実績は20年9月頃判明予定。	1事業	一千万円以上

**7-2 交流ひろがるとくしまづくり**

437	徳島飛行場の拡張		整備中	17	整備中	整備中	供用	22	平成22年度供用に向けて事業促進。平成19年度に、埋立工事完了。今年度は滑走路滑走路整備等に着手。		
438	外環状道路（延長約35.0km）の供用率（暫定含む）	%	44	15	44	48	66	22	徳島環状線 国府工区(1.5km)が平成19年度末に暫定供用した。	3事業	一億円以上
439	徳島小松島港沖洲（外）地区の整備				-	-	整備中	22	新規事業採択を目指し、その指針となる港湾計画の検討・調査を実施。	1事業	一千万円以上
440	徳島小松島港赤石地区における貨物取扱量	万トン	120	17	113	-	200	22	内貿埠頭の早期供用に向けて用地造成を推進。平成19年度実績は、平成21年6月頃に確定する見込み。		
441	四国横断自動車道（鳴門～徳島間）の整備用地取得率	%	14	17	63	95	100	22	順調に用地買収が進み、今年度目標の85%を大幅に上回った。		
442	四国横断自動車道（徳島～徳島東間）の整備		調査中	17	調査中	調査中	設計協議中	22	早期の現地調査着手に向け、データ収集等の諸準備を実施。		
443	四国横断自動車道（徳島東～阿南間）の整備		調査中	17	設計協議に着手	設計協議	工事施工中	22	小松島～阿南間は、全地区で設計協議に着手し、徳島東～小松島間は現地調査に着手。		
444	地域高規格道路徳島環状道路（延長22km）の供用率	%	28	17	30	37	60	22	徳島環状線 国府工区(1.5km)が平成19年度末に暫定供用した。	3事業	一億円以上

印は20年度版で上方修正

(19年度実績値は、平成20年3月31日時点)

番号	指 標 名	単位	現況値	年度	<参考> 実績値 (18年度)	実績値 (19年度)	目標値	年度	進捗状況の説明	政策評価対象 関連事業	
										事業数	H20事業費
										445	阿南安芸自動車道（日和佐道路延長9.3km）の供用率
446	地域高規格道路阿南安芸自動車道（桑野道路）の整備		未実施	17	調査中	調査中	調査設計中	22	事業化を目指しルート選定等の作業中。		
447	地域高規格道路阿南安芸自動車道（福井道路）の整備		未実施	17	調査中	調査中	調査設計中	22	事業化を目指しルート選定等の作業中。		
448	一般国道32号猪ノ鼻道路（延長8.4km）の整備		調査中	17	調査中	用地交渉・ 工事に着手	工事施工中	22	今年度、用地交渉に着手し、一部の地権者と契約が完了したほか、本線工事に着手。		
449	一般国道55号阿南道路（延長21km）の供用率	%	71	17	71	74	74	19	平成19年12月1日に、津乃峰町長浜～東分間0.5kmが開通し、目標を達成。		
450	一般国道55号牟岐バイパス（延長2.4km）の整備		調査中	17	調査中	調査中	工事施工中	22	測量、設計等の現地調査を実施。		
451	県道徳島空港線（徳島空港～一般国道28号）の整備		整備中	17	整備中	整備中	暫定共用	21	工区延長2.4kmのうち、1.7kmについて暫定供用し、残る区間の用地取得および工事を促進。	1事業	一千万円以上
452	元町沖洲線（延長2.7km）の整備				整備中	4車線化 完成	4車線化 完成	19	4車線化完成		
453	マリンピア沖洲 期事業（土地造成）		事業中	17	事業中	事業中	概成	22	北側緑地の用地造成が完了。引き続き道路用地等の整備を推進する。	2事業	一億円以上
454	放射道路（延長約23.2km）の供用率（暫定含む）	%	68	17	74	77	80	22	常三島中島田線（徳島鴨島線）、元町沖洲線が4車線化完成。	3事業	一億円以上
455	主要幹線道路等における渋滞交差点の箇所数	箇所	23	17	22	16	6	22	徳島本町交差点、辰巳ランプ交差点など6箇所の渋滞交差点の対策工事が、平成19年度内に完成した。	3事業	一億円以上

### 7 - 3 観光立県とくしまづくり

456	映画、ドラマ、CM等のロケ撮影支援件数（累計）	件	88	17	113	139	200	22	引き続き、的確な情報提供とアテンドにより、県内ロケの支援・誘致を図る。	1事業	一千万円以上
457	「観光検定」の合格者数（累計）	人	-	17	73	242	300	22	引き続き観光達人の育成に取り組む。	1事業	百万円以上
458	観光入り込み客数	万人	1,245	17	1,297	-	1,500	22	とくしまの観光ブランドを効果的に発信することで観光誘客促進に一層取り組んだ。19年実績は20年9月頃判明予定。	1事業	一千万円以上
459	「徳島観光ファンクラブ」会員数（累計）	人	3,418	17	3,560	5,030	6,000	22	旬の徳島の情報をいち早く発信し、多くの人々に徳島の魅力を伝えていく。	1事業	一千万円以上
460	県内主要「阿波おどり」入り込み客数	万人	148	17	148	160	160	22	映画「眉山」等の効果を活用し、観光誘客促進に取り組んだ。	1事業	一千万円以上
461	「はな・はる・フェスタ」入り込み客数	万人	20	17	24	32	28	22	企画内容を工夫することにより、観光誘客促進に取り組んだ。	1事業	一千万円以上

印は20年度版で上方修正

(19年度実績値は、平成20年3月31日時点)

番号	指 標 名	単位	現況値	年度	<参考> 実績値 (18年度)	実績値 (19年度)	目標値	年度	進捗状況の説明	政策評価対象 関連事業	
										事業数	H20事業費
										462	体験型教育旅行における協議会受入泊数 (累計)
463	グリーン(ブルー)・ツーリズム インストラクター数(累計)	人	16	17	26	32	35	22	四国グリーン・ツーリズム推進検討会やまちむら交流機構との連携により、グリーン・ツーリズムインストラクター育成スクールを徳島県で開催し、体験指導者の育成に取り組む、ほぼ目標を達成した。	1事業	百万円未満
464	観光地へのアクセスルート整備箇所数	箇所	-	17	-	-	4	22	剣山周遊ルートをはじめ、自然公園へのアクセスとなる国道・県道の整備を促進。	3事業	一億円以上
465	イベント情報を表示する道路情報板数	箇所	-	17	0	59	20	22	国民文化祭関連、観光地までの距離・時間、選挙投票日等表示した。実績値の59基は最も多く表示された日の基数(国文祭)。		(ゼロ予算事業)
466	「県産品まるごとデータベース・阿波のある でよネット」商品数	品	500	17	670	690	1,000	22	掲載商品数の増加に取り組んだ。	1事業	百万円未満
467	コンビニエンスストアでの県産品販売コー ナー設置数	箇所	-	17	5	6	20	22	県産品販売コーナーの設置数増加について働きかけた。	1事業	百万円未満
468	「ふるさと水と土指導員」の認定数	人	31	17	34	35	40	22	資質向上のための県内研修会の開催や、全国研修会への派遣等により認定数の増加を図った。	1事業	百万円以上

### 7 - 4 笑顔と活気あふれるとくしまづくり

469	コンベンション(四国大会以上)の参加者数 (累計)	人	76,000	17	167,475	259,732	500,000	22	積極的な誘致活動、開催助成金の支給等により、コンベンション誘致の促進に取り組んだ。19年度実績値は4~1月の実績値。19年度実績値は20年夏頃判明予定。	1事業	一千万円以上
470	ドイツ・ニーダーザクセン州との友好提携				-	提携	提携	22	平成19年9月に「日本国徳島県とドイツ連邦共和国ニーダーザクセン州との交流に関する共同宣言」に調印した。	1事業	百万円以上
471	国民文化祭(来場者数)	人			-	770,000	700,000	19	第22回国民文化祭を県内外から、延べ約77万人の来場者を迎え開催した。		
472	第20回全国なぎさシンポジウムin徳島 (参加予定人数)	人			-	400	700	19	第20回全国なぎさシンポジウムin徳島を平成19年11月8日に開催し、全国から約400人参加した。		
473	地域ICT未来フェスタ(参加予定人数)	人			-	-	100,000	20	国、関係自治体、関係団体等と実行委員会を設立し、基本計画を策定するなどの開催準備を行った。	1事業	一千万円以上
474	ドイツ・ニーダーザクセン州との経済・文化 交流等(公式訪問団の派遣、阿波人形浄瑠璃 の上演、合唱団の招へい)				阿波踊り等 派遣	派遣・上演・ 招へい	派遣・上演・ 招へい	19	公式訪問団の派遣等を実施し、目標どおり達成された。		
475	中国・広東省との文化交流等(文化行政部門 の職員・公式訪問団の受入、広州芸術博物院 所蔵作品の展示、舞踊団の招へい)				派遣・受 入・展示・ 招へい	受入・展示・ 招へい	受入・展示・ 招へい	19	書作品の展示等を実施し、目標どおり達成された。		

印は20年度版で上方修正

(19年度実績値は、平成20年3月31日時点)

番号	指 標 名	単位	現況値	年度	<参考> 実績値 (18年度)	実績値 (19年度)	目標値	年度	進捗状況の説明	政策評価対象 関連事業	
										事業数	H20事業費
										<b>7 - 5 e - とくしまづくり</b>	
476	ブロードバンドサービス世帯普及率	%	37.4	17	42.4	45.4	60	22	利用エリアの拡大に伴い、普及率は順調に増加している。19年度数値は19年12月末現在による。年度末実績は20年夏頃に判明の予定。	1事業	百万円未満
477	過疎地域におけるCATVサービス提供市町村の割合	%	6.9	15	61.5	61.5	100	22	海部郡3町が連携して地域イントラネット基盤施設整備事業を実施。三好市、美馬市において加入者系光ファイバ網の整備事業を実施。	1事業	百万円未満
478	「(財)e-とくしま推進財団」を活用した産学官地域連携事業数(累計)	事業	3	17	11	24	30	22	国、県、市町村、大学、経済団体、民間事業者、NPO法人等と連携して、調査研究事業やICT普及啓発事業を行った。	1事業	百万円以上
479	「地域ICT未来フェスタ」の開催				開催決定	開催準備	開催	20	国、関係自治体、関係団体等と実行委員会を設立し、基本計画を策定するなどの開催準備を行った。	1事業	一千万円以上
480	超高速ブロードバンドサービス(FTTH:光ファイバ)利用可能世帯の割合	%	63.6	17	71.0	71.5	90	22	利用エリアの拡大途上である。19年度数値は19年12月末現在による。年度末実績は20年夏頃に判明の予定。	1事業	百万円未満
481	シニアITアドバイザー取得者数(累計)	人	20	17	44	142	200	22	シルバー大学校、大学院の開講事業の取り組みにより、順調に取得者数が増加している。	1事業	百万円以上
482	シニア情報生活アドバイザー登録者数(累計)	人	12	17	36	56	100	22	市町村やNPO法人と連携し、シニア情報生活アドバイザー養成講座の開催支援を行った。		(ゼロ予算事業)
483	電子カルテシステムの導入・運用する県立病院数	病院	2	17	2	2	3	21	三好病院において、電子カルテ導入のための事前調査を実施した。		
484	オンライン手続の利用促進「オンライン利用促進計画」の策定				-	策定	策定	19	オンライン手続の利用を促進するため、平成20年3月、徳島県ICT推進本部において「電子申請・届出システム オンライン利用促進計画」を策定。		
485	電子入札システムの運用				-	本格運用	本格運用	19	平成19年4月より本格運用開始	1事業	一千万円以上
486	「総務事務システム」の整備・運用				検討	開発	運用開始	21	長崎県から総務事務関係システムの提供を受け、徳島県仕様にカスタマイズする作業を進めた。また、新規開発が必要なシステムについて、開発に向けた仕様書の作成を進めた。	1事業	一千万円以上
<b>7 - 6 文化立県とくしまづくり</b>											
487	「文化立県とくしま推進基金」の創設				-	検討	創設	20	平成20年3月に「文化立県とくしま推進会議」を設置し、事業内容等を検討。20年度に基金設置予定。	1事業	一億円以上

印は20年度版で上方修正

(19年度実績値は、平成20年3月31日時点)

番号	指 標 名	単位	現況値		<参考> 実績値 (18年度)	実績値 (19年度)	目標値		進捗状況の説明	政策評価対象 関連事業	
			年度	年度			年度	年度		事業数	H20事業費
488	国民文化祭・とくしま2007の成功 (来場者)	人			-	770,000	700,000	19	第22回国民文化祭を県内外から、延べ約77万人の来場者を迎え開催した。		
489	学校への芸術家等派遣回数(累計)	回	20	17	62	133	140	22	19年度は、学校への芸術家派遣事業37回、本物の舞台芸術体験事業17回、児童劇巡回10回、市町村連携事業7回を実施した。	1事業	一千万円以上
490	博物館・近代美術館入館者数(累計)	万人	248	17	265	295	300	22	19年度は、文化の森文化施設が国文祭「美術展」会場として約7万人の来場があり、例年以上の来場者数となった。	2事業	一千万円以上
491	「あわ文化」情報の発信回数	回			0	12	1回以上	19~	県の広報紙やホームページを活用して、徳島ならではの文化資源について情報発信した。		(ゼロ予算事業)
492	伝統芸能県外・海外公演開催数(累計)	件	6	17	20	47	40	22	19年度は、阿波踊り21回、人形浄瑠璃6回の公演を実施した。	1事業	一千万円以上
493	文化事業への協力企業数	社	-	17	0	10	10	22	あわ文化コーディネート事業の検討を進めるとともに、郷土文化会館のパンフレットへの広告掲載について、企業の協力を得た。		(ゼロ予算事業)
494	「阿波十郎兵衛屋敷」入館者数(累計)	人			30,989	35,231	150,000	19~22	国民文化祭をはじめとするイベントの積極的開催に努めたが、団体旅行客の減少により目標を若干下回った。	1事業	一千万円以上
495	新たなスタイルの「県民文化祭」の開催				-	検討	開催	20	19年度は国民文化祭開催のため、県民文化祭を休止し、20年度開催に向けての検討を行った。	1事業	一千万円以上
496	発掘調査面積(累計)	m <sup>2</sup>	4,800	17	7,200	9,600	12,000	22	史跡整備の基礎資料を得るとともに、史跡周辺の重要遺跡の確認に努めた。	1事業	一千万円以上
497	文化財ボランティア養成人数(累計)	人	-	17	42	61	200	22	いにしえ夢街道推進事業の一環として、地域の活動者の育成を目的に、年5回の講座を実施した。	1事業	百万円以上
498	歴史的景観(史跡を含む)の国指定・選定数	地区	9	17	9	9	13	22	歴史的景観を活かした地域づくりを進めるため、史跡指定の条件整備に努めた。	1事業	一千万円以上
499	文化の森文化施設普及事業の開催回数(累計)	回			209	448	800	22	博物館、近代美術館、文書館において阿波文化を直接体験できる普及事業を開催した。	5事業	一千万円以上
500	文学書道館の講座開催回数(累計)	回			42	58	160	19~22	19年度は文学25回、書道33回の講座を開催した。	1事業	一億円以上
501	近畿高等学校総合文化祭の開催				準備	準備	開催	20	平成20年11月に「第28回近畿高等学校総合文化祭」を本県で開催するための準備を進めた。	1事業	一千万円以上

7-7とくしまスポーツ王国づくり

印は20年度版で上方修正

(19年度実績値は、平成20年3月31日時点)

番号	指 標 名	単位	現況値	年度	<参考> 実績値 (18年度)	実績値 (19年度)	目標値	年度	進捗状況の説明	政策評価対象 関連事業	
										事業数	H20事業費
										502	「とくしまマラソン」の開催
503	競技力向上のための中学・高校連携ゾーン数	ゾーン	-	17	0	1	16	22	競技力向上スポーツ指定校制度による競技力の基盤強化を図るとともに、中学・高校連携による競技力向上連携ゾーンをスタートさせた。	2事業	一千万円以上
504	スポーツ大会、合宿の誘致件数	件	16	17	23	33	32	22	引き続き、大会や合宿の誘致に取り組む。	1事業	百万円以上
505	アウトドアスポーツのインストラクター・ガイドを業とする個人・団体数	団体	6	17	7	7	10	22	アウトドアスポーツのインストラクター・ガイドを業とする個人・団体が増加し、アウトドアスポーツが地域の産業となりつつある。今後は南部圏域で行えるアウトドアスポーツを効果的にPRし、地域ブランド力の向上や交流人口の増加を目指す。	1事業	百万円以上
506	「スポーツ表彰・褒賞制度」の創設				-	策定中	創設	19	平成20年1月に策定された「とくしまスポーツ憲章」に基づき、「徳島県スポーツ賞（仮称）」を策定中。	1事業	百万円未満
507	国民体育大会天皇杯順位	位	46	17	47	47	30位台	22	強化対象団体の絞り込みを行うとともに、強化費の重点配分や本大会直前強化事業への支援を実施した。	1事業	一千万円以上
508	総合型地域スポーツクラブの設立数	クラブ	13	17	17	21	26	22	現在、17市町村において25の総合型クラブが設立又は設立準備中である。	1事業	百万円以上
509	南部健康運動公園の整備（テニスコートエリア）		整備中	17	整備中	多目的広場 完成	整備完了	22	テニスコートエリアのうち、多目的広場の整備が完了。	1事業	一億円以上
510	橘港小勝・後戸地区の緑地整備（スポーツ・レクリエーション振興ゾーン）		-	17	-	-	整備中	22	新規事業採択を目指し、公共用地の造成を実施。		